

シテ無數ノ材木ヲ積累セルガ如シ、皆熔岩ノ固結セル者ニシテ甚ダ奇觀ナリ。此ノ地方ニ但馬富士（三開山）ノ休火山アリ、即チ白山火山脈ニシテ大凡中國山脈ニ並行シテ山陰道ヲ通過セリ。

火山石

熔岩 熔岩ニ種類アリ、其ノ固結ノ時ノ状態ニヨリテ浮石ノ如ク氣孔多キ者アリ、玄武石ノ如ク整正ナル條理アル者アリ、伊豆石ノ如ク大ナル條理ナク唯線紋等ヲ顯ス者アリ、氣孔モ條理モナク玻璃狀ナルコト十勝石ノ如キ者アリ、是等ハ皆通常見ル所ノ火山質石材ナリ。

鳥取

山陰街道ハ因幡ニ入り、鳥取ヲ過ギテ千代川ヲ渡リ、遂ニ伯耆ニ入ル。鳥取ハ山陰屈指ノ都會ニシテ、此ニ鳥取縣廳アリ、因幡伯耆ヲ管ス。伯耆ニ至レバ、國ノ中央ニ大山（イセ）アリ、白山脈ノ休火山ニシ

中國第一ノ高山

テ直立大凡六千尺、富士ノ高サニ半バシ、中國第一ノ高山ナリ。是ニ續ケル船上山ハ後醍醐天皇ノ隱岐ヨリ潜幸アリシ時、名和長年ガ守護シ奉リシ行在ノ所ナリ。山陰街道海岸ニ沿ヒテ西境ニ至レバ米子（マコ）ノ市街アリ、津山街道アリテ鐵道ノ豫定線ナリ。此ノ海岸ニ斗出シタル沙洲ヲ夜見濱ト云ヒ、出雲ノ島根半島ト「人」ノ字ヲ成ス。洲ノ北端ニハ境港アリ、新開港ノ一ニシテ隱岐ノ航路ハ多ク爰ヨリス。

隱岐國

隱岐ハ日本海中數個ノ島ヨリ成リ、北ナル最大ノ一島ヲ島後ト云ヒ、南ナル一群ノ島ヲ島前ト云フ。島前中ニ大ナル島三ツアリ、西島、中島及ビ知夫里島ト云フ、中島ハ後鳥羽

山脈
隱岐火

天皇ノ遷幸ノ地、知夫里島ハ後醍醐天皇遷幸ノ地ナリ。隱岐モ火山ノ爲メニ噴起シタル島ニシテ、遙カニ佐渡能登ニ脈ヲ引キ、之ヲ隱岐火山脈ト云フ。

出雲國及ビ石見國

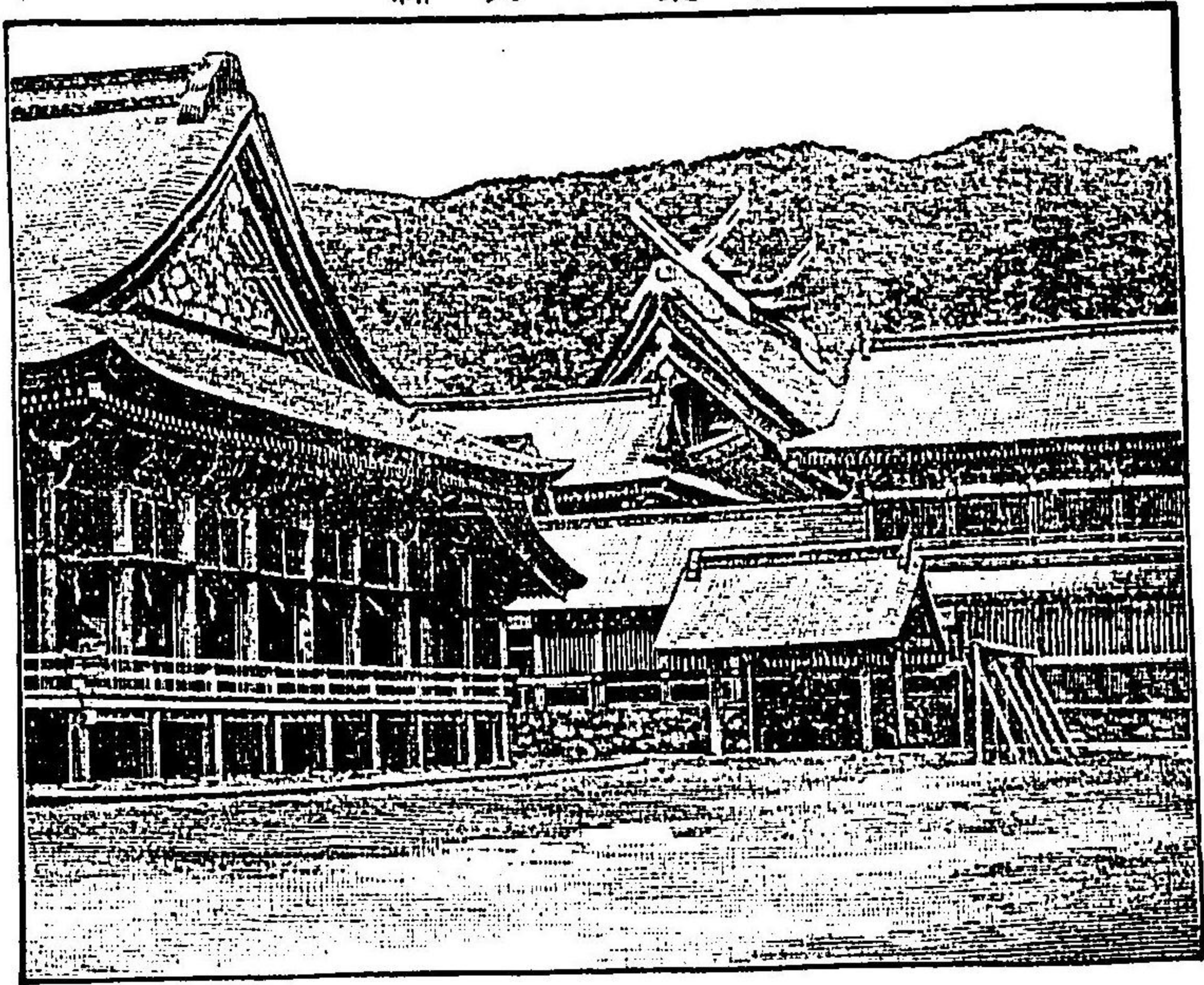
島根半島ト伯耆ノ夜見濱トニテ抱ケル内海ヲ中海ト云フ、風浪穩カニシテ碇泊ニ宜シ。中海ノ西ニ宍道湖アリ、湖ノ東岸ニ松江アリ、山陰第一ノ都會ニシテ湖海ノ通運甚ダ宜シク島根縣廳此ニアリテ出雲石見隱岐ヲ管ス。湖上ノ風景明媚ニシテ、其ノ鱸ノ佳味支那ノ松江ニ似タルモ奇ナリ。湖中ニ注グ簸川一名大川ノ水源ナル船通山ハ古ヘハ簸川上ト云ヒ、古傳ニヨレバ、素盞鳴尊ガ八岐大蛇ヲ斬リテ

松江

杵築

寶劍ヲ得給ヒシ所ナリ。サテ山陰街道ハ伯耆ヨリ來リテ松江ヲ過ギ、宍道湖ノ岸ニ沿ヒ杵築ノ南ヲ過ギテ石見ニ入ル。杵築ノ大社ハ上古山陰道ヲ經營シテ吾ガ皇室ニ讓リ給ヒシ大國主命ヲ祀レル宮殿ナリ。出雲牛ハ昔ヨリ世ニ名アリ。

社大ノ築杵



石見ノ江川即チ石見

川ハ備後ヨリ來リ、中國第一ノ大河ニシテ水源ヨリ七十餘里アリ、而モ舟運ハ其ノ半ニ至ラズ。山陰街道來リテ此ノ川ヲ渡リ濱田港ヲ過グ、濱田ハ新開港ノ一ニシテ石見半紙ノ市場ナリ。斯クテ街道ハ漸ク海邊ヲ離レ、長門境ニ近キ津和野ヲ過ギ、長門ノ一隅ヲ通りテ山陰道ナル周防ノ山口ニ會ス。津和野附近ノ山中ニ銀山アリ、所謂石見銀山鼠取藥ハ粗製ノ砒石ナリ。

日本海岸

山陰道概要 一般ノ地勢ハ前ニ已ニ云ヘル如ク山陽ト共ニ極メテ單一ナリ、唯山陽ニ比スレバ白山火山脈アルヲ異ナリトス。海岸ハ丹後、出雲ヲ除クノ外ハ屈曲少ク、良港ナシ、是日本海海岸ノ通例ナリ。氣候ハ山陽ニ比スレバ、割然トシテ寒冷ナルハ主トシテ其ノ北受ケナルガ爲メナラン。

養蜂地方

雨量ハ北陸道ニ比シテ稍、少キハ山脈ノ方向大凡南北ニ走リテ夫ノ西北風ヲ正面ニ受ケザルガ爲メナルベシ。地質ハ山陽ニ比スレバ花崗石一層多クシテ地味更ニ瘠セタリ。産物ノ一般ナルハ牧牛ト養蜂トニシテ、蜂蜜各地ニ産ス。礦物ニハ生野、石見ノ銀山アリ、鐵山ハ雲石鑿備ト稱シ、此ノ地方ノ産額ハ現今全國一ノ多量ナリ。海岸多キ故ニ各國多少ノ漁業アレド、風浪荒キガ爲メニ比較的收得少シ。人情ハ山陽ト同シク温順ナレド、交通極メテ狭キガ故カ稍、狹固ニ近キ者アリ。然レドモ播但鐵道、阪鶴鐵道、岡山米子間等横斷線ノ着手セラレ、計畫セラレタル者已ニ多シ、況ヤ他日鐵道ノ山陰ヲ縦貫スル者アルニ至ラバ、諸般ノ風光面目ヲ改ムル應ニ遠キニ非ザルベシ。

第十三章 南海道

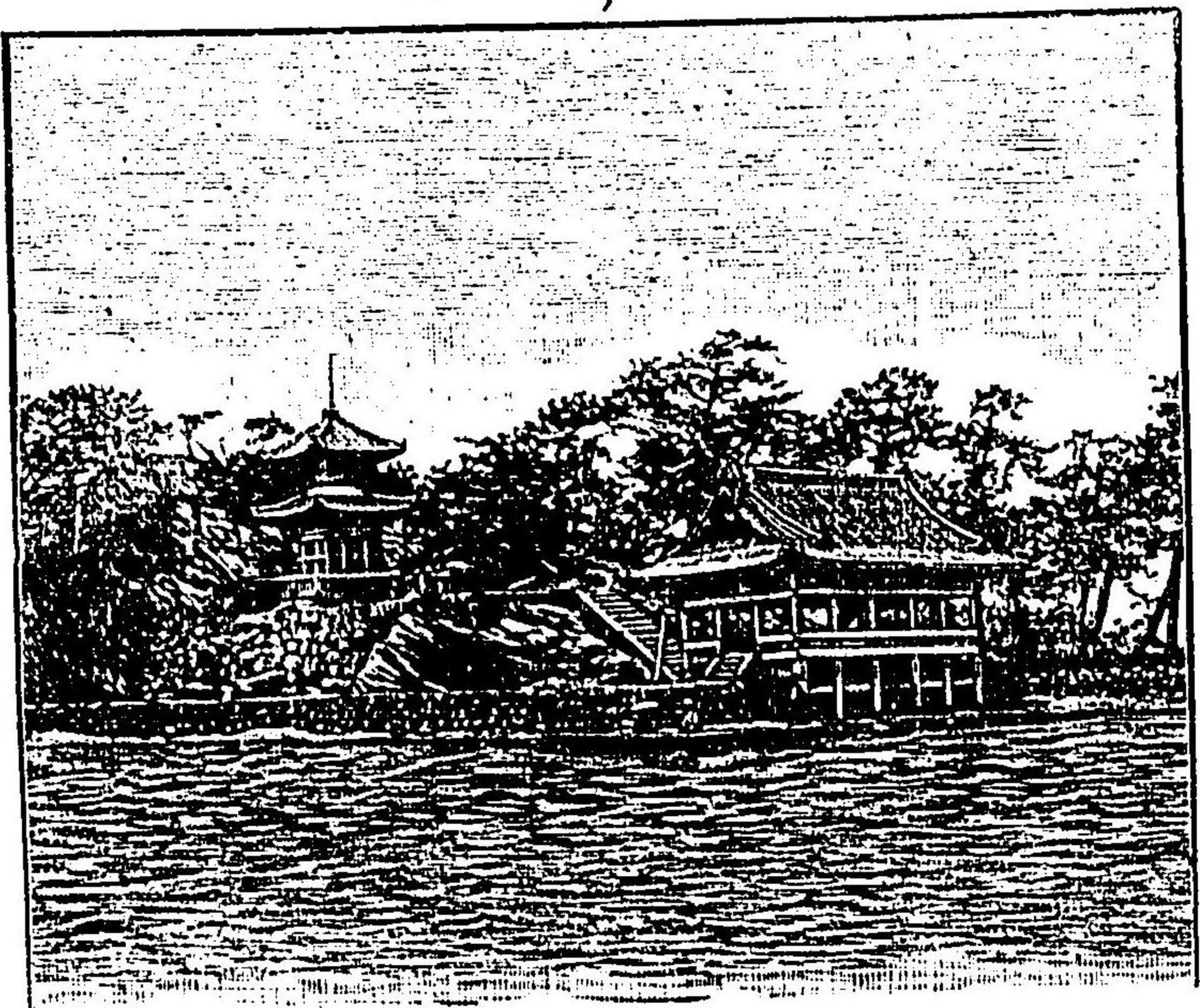
紀伊國

紀伊ハ其ノ形大凡羅馬數字ノVノ字ニ似テ、西半廣ク、東半狹ク、内面ハ紀伊山脈ニシテ大和ノ南部ヲ擁シ、外面ハ一帯ニ海ヲ受ケ、中央ノ突角ヲ潮岬ト云ヒ、黒潮之ニ激シテ波濤險惡ナリ。和泉ニ接スル紀泉山脈ノ突角ハ加太岬ト云ヒ、淡路國ト紀淡海峽ヲ夾ミ、軍事上要害ノ地ナリ。南海鐵道ハ大阪ヨリ和歌山ニ達セリ。和歌山ハ紀川ノ河口ニアリテ和歌山縣廳ハ當國熊野川以西ヲ管シ、紀州ねるハ此ノ地ヨリ出ヅ。紀川ハ即チ大和ノ吉野川ニシテ、之ニ沿ヘル紀和鐵道亦遠カラズ通セントス。此ノ河流附近

和歌山

高野山

ノ著シキ者ヲ舉ゲンニ、大和境ニ於テ左岸遙カニ峙テル高野山ハ有名ノ靈山ニシテ、弘法大師ノ開基ノ金剛峯寺アリ、杉、和高野槇等ノ大木森森トシテ、斯ノ山ノ尊嚴ヲ添ヘタリ。總ベテ紀伊山脈ハ吉野ヘカケテ多ク木材ヲ出シ、木曾ニ亞ギタル山林ナリ。下リテ右岸ナル粉川ハ粉川寺



ト酢トテ以テ名高シ。和泉境ニ接セル根來ノ根來寺亦有
 名ナリ。和歌山ニ至レバ其ノ南方ノ海濱ヲ和歌浦ト云ヒ、
 風光明媚氣候溫和ニシテ遊人ノ賞揚スル所ナリ。
 和歌山ヨリ海ニ沿ヒテ南ニ進メバ黒江港ニ至ル、即チ黒
 江、椀ノ産地ナリ。總シテ和歌山縣ノ漆器全國第一ノ多額
 ナルハ蓋シ當國ノ木材ト吉野漆ノ自由ナルトニ由ルナラ
 シ。有田川ハ紀川ニ並行シテ海ニ入ル、其ノ兩岸ハ有名ナ
 ル紀州蜜柑ノ産地ナリ。
 更ニ南ニ進メバ田邊ナル小都會アリ。此ノ邊ヨリ東チ
 一帶ニ熊野地方ト稱ス、大和ノ十津川熊野川トナリ、熊野浦
 ニ注グ。熊野浦ハ鯨漁ニ名アリ、又熊野山中ヨリハ材木及
 ビ最良ナル鍛冶炭熊野備長ト云フチ出ス。熊野川ノ右岸

那智山

ニ本宮、那智及ビ新宮アリ、各著名ナル大社アリ、之チ熊野三
 社ト稱ス。本宮ノ温泉ハ古ヘヨリ有名ナリ、又那智山ニハ
 那智瀧アリ、高サ八十四丈、本邦第一ノ大瀧ニシテ熊野浦チ
 過グル者舟中ヨリ之チ望ムベシ。

淡路國

淡路ハ大畧細長キ三角形ヲ成シタル島國ナリ。頂點即
 チ北端ハ明石海峡ヲ隔テテ攝播ニ對ス。底邊ノ東角ハ紀
 淡海峽ヲ隔テテ紀州ノ加太岬ニ對ス、此ニ由良アリテ砲臺
 チ設ケラル。又底邊ノ西角ハ鳴門海峡ヲ隔テテ阿波ニ對
 ス。所謂阿波ノ鳴門ハ有名ナル難處ニシテ、潮流相激シテ
 渦卷ヲ成ス。然レドモ其ノ潮流荒キガ爲メニ魚類ノ味甚

鳴門海峽

ダ佳ク、鳴門鯛ノ名近畿ニ噪ゲリ。鳴門ニ近ク福良ノ港アリ、此ノ邊ハ陶器淡路燒ノ產地ナリ。山脈ハ南北ニ縦貫スル者ト底邊ニ沿ヒテ横貫スル者トアリ。東岸ノ洲本港ハ當國一ノ名邑ナリ。

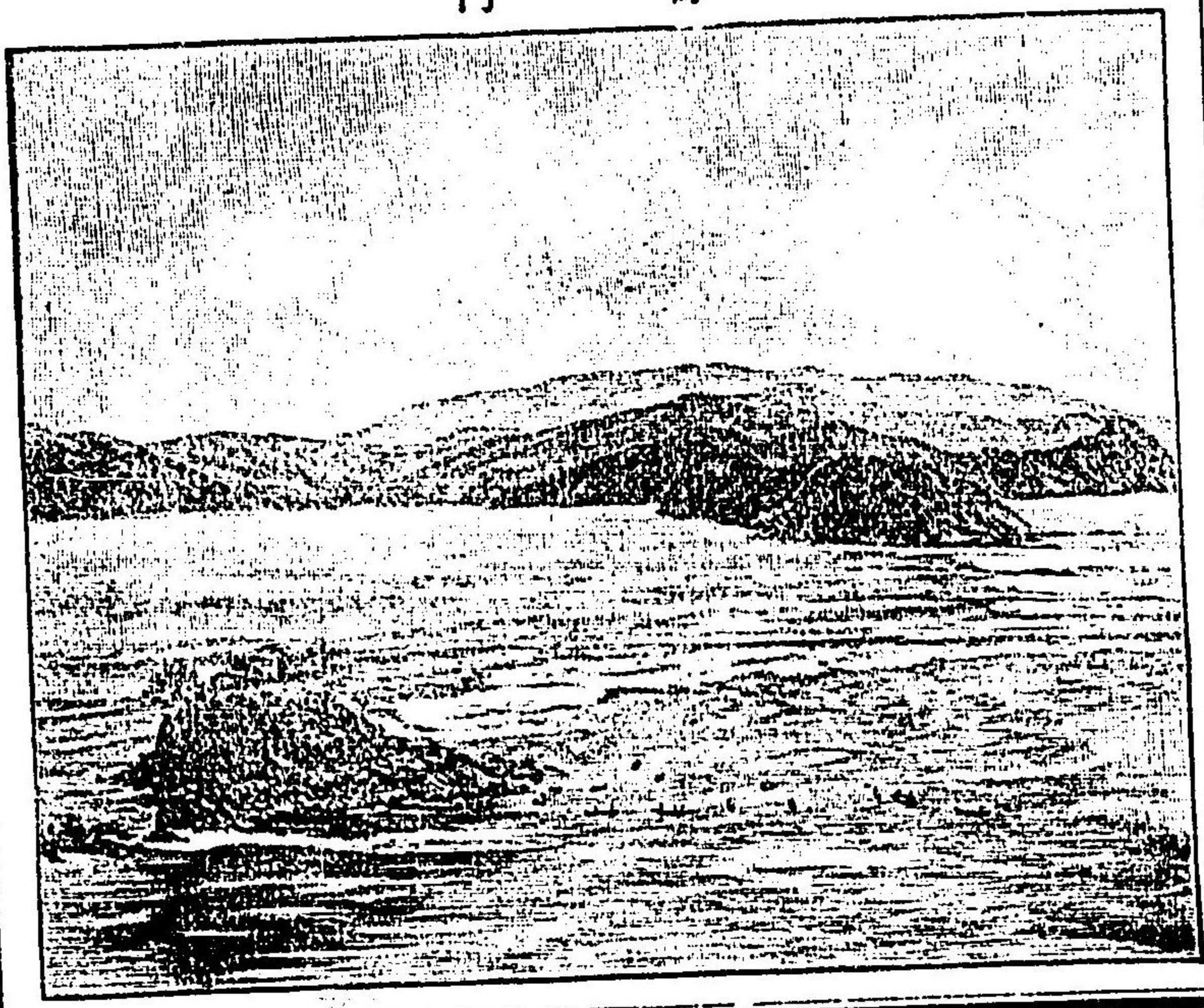
阿波國

人ハ謂フ四國ハ蝙蝠ノ羽ヲ張リタル形ナリト、而シテ阿波ハ其ノ東翼ノ中部ヲ占メタリ。阿波ハ四國山脈ノ二分岐ニヨリテ擁セラレ、東面獨リ海ニ臨メリ。其ノ分岐ノ北ナル者ハ北境ヲナシテ鳴門海峽ニ没シ、再ビ現レテ淡路ノ南岸ヲ過ギ、更ニ紀淡海峽ニ没シ、三タビ現レテ紀泉山脈トナレリ。南部ノ脈ハ海ヲ渡リテ紀州ニ入り、紀伊山脈トナ

四國山脈

本邦第一ノ藍產地
藍ト阿波絨

リ、伊勢、志摩ヲ過ギテ又海ヲ渡リ、三河、遠江ニ現レテ赤石山脈トナル。北部ノ水ハ集リテ吉野川トナリ、東ニ流レテ海ニ入ル。大和ノ吉野川ト同名ニシテ、彼ハ日本第一ノ櫻ノ名所ナリ、是ハ日本第一ノ藍ノ產地ニシテ、兩岸ノ地培養製造甚ダ盛ンナリ。阿波絨ノ此ノ流域ニ有名



徳島

ナルモ、一ハ藍ノ原品ノ便ナルニヨリテナラン。河口ニ徳島アリテ徳島縣廳ハ當國ヲ管ス。北ニ齋田アリ製鹽ニ名アリ。徳島ヨリ徳島鐵道漸ク吉野川ノ流域ニ上レリ、他日當ニ進ミテ讃岐、伊豫及ビ土佐ニ入ルベシ。

讃岐國

高松

讃岐ハ後面四國山脈ニヨリテ阿波ト界シ、前面瀬戸内海ニ臨メリ。高松ハ大阪ヨリ瀬戸内航路ノ一要津ニシテ香川縣廳此ニアリ當國ヲ管ス、其ノ公園ハ幽邃廣大ニシテ、日本三公園ト並ベ稱セラル。高松ノ東ノ突角ニハ五劍山アリ、其ノ麓ナル屋島ハ源平ノ古戰場ナリ。高松ヨリ沿岸ノ街道東西ニ通ズ、東ノ方阿波ニ近ク引田アリ、全國製糖盛ン

琴平

ナル中、引田殊ニ名アリ。高松ヨリ沿岸阿波ニ入ルベキ鐵道豫定セラレタリ。高松ヨリ西ハ讃岐鐵道已ニ敷設セラレテ丸龜及ビ多度津ニ至レリ。丸龜ハ第十一師團ノ位地ナリ。多度津ハ四國ノ最良港ニシテ船舶ノ出入繁昌セリ。多度津ノ南ナル琴平ハ象頭山ノ琴平神社ノアル所ニシテ、參詣ノ人多ク、多度津ヨリ鐵道ヲ布設セリ。此ノ線ハ他日徳島鐵道ト連絡スベシ。象頭山、五劍山等ハ何レモ休火山ニシテ、肥後ノ阿蘇ニ連ナル阿蘇火山脈ナリ。

伊豫國

伊豫ハ讃岐ノ西ニ並ビテ、四國山脈ヲ負ヒ、瀬戸内海ニ臨ム。四國山脈ノ石槌山ハ土佐境ニ峙テテ直立六千五百尺

四國第一
高山

富士ノ半ヨリ稍高く、四國第一ノ高山ナリ。東ノ方山脈ノ阿波ニ分岐セントスル邊ニ別子銅山アリ、産額ノ多キコト足尾ニ亞ギ、本邦第二ト稱ス。又市川鑛山ニ安質母尼ヲ産シ、世ニ之ヲ「伊豫白蠟」ト稱ス。

松山

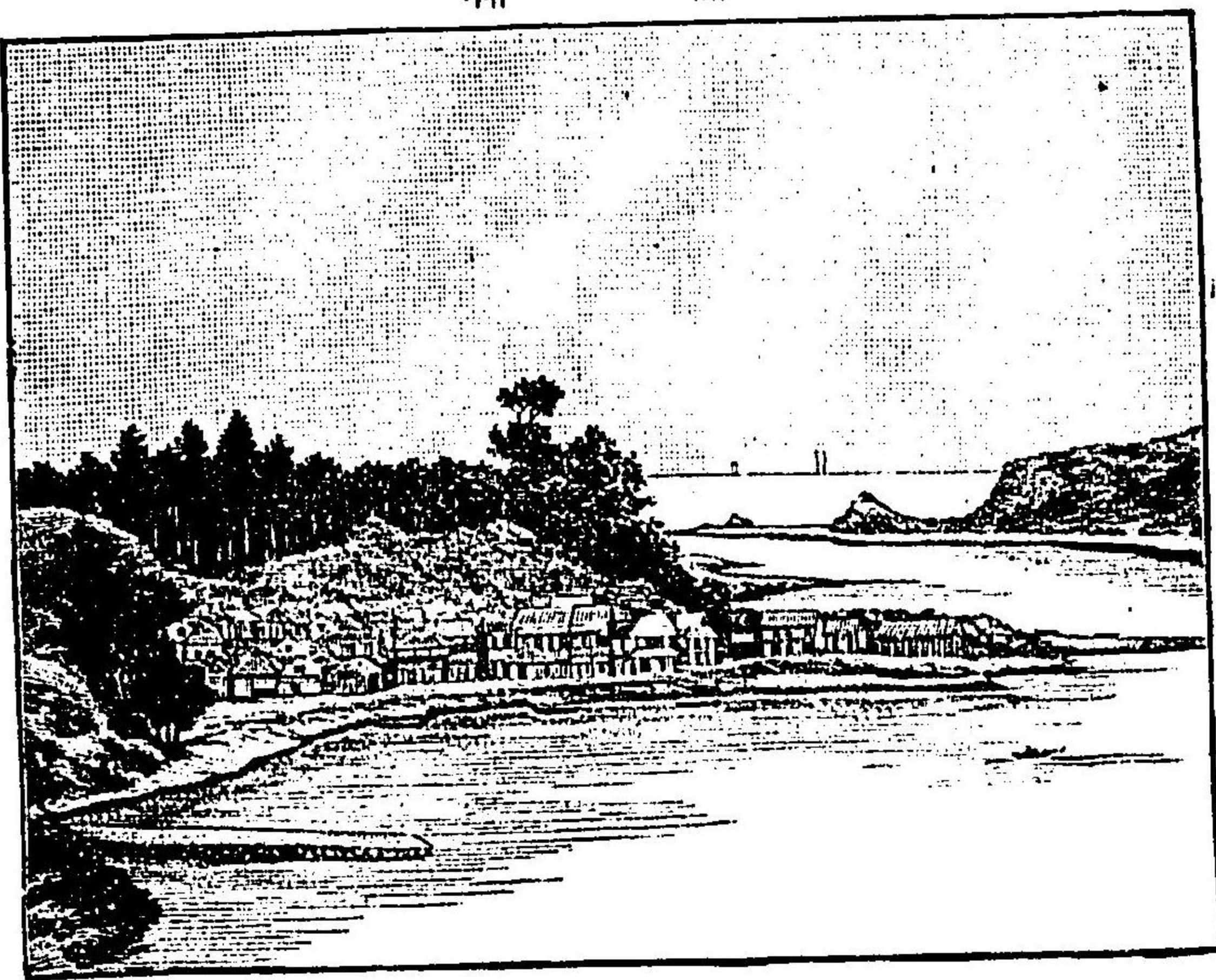
松山ニハ愛媛縣廳アリテ當國ヲ管ス。鐵道ハ此ノ地ヲ中心トシテ三津濱港及ビ道後ノ溫泉等ニ至ル、他日應ニ讚岐鐵道ト連絡スベシ。有名ナル伊豫簾ハ松山ヨリ土佐境ノ方ニ寄りタル山地ニ産出ス。西隅ニ細長キ手ノ形シタル半島アリ、恰モ人ノ指ヲ以テ九州ヲ指スガ如シ、其ノ端ヲ佐田岬ト云フ。此ノ海峽ハ水勢強クシテ魚類多ク且美味ナリ。

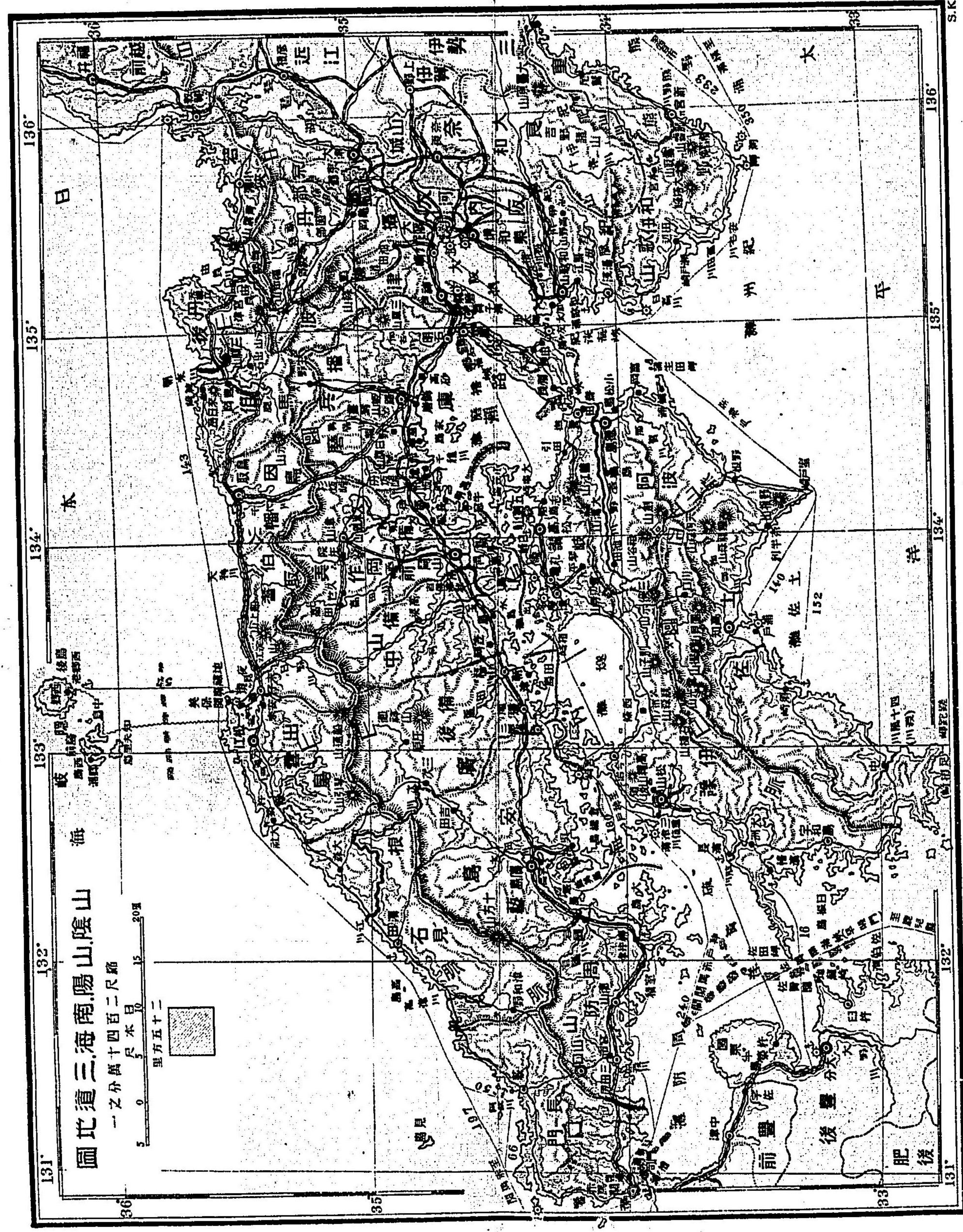
土佐國

高知

土佐ハ四國山脈以南ノ海岸一帯ヲ占メタル大國ニシテ、前ナル海ヲ土佐沖ト稱ス。四國山脈ノ爲メニ諸方ノ道路險惡ヲ極メ、海岸ハ良港ナクシテ風浪荒ク、颶風亦時ニ至リ、交通頗ル不便ナリ。

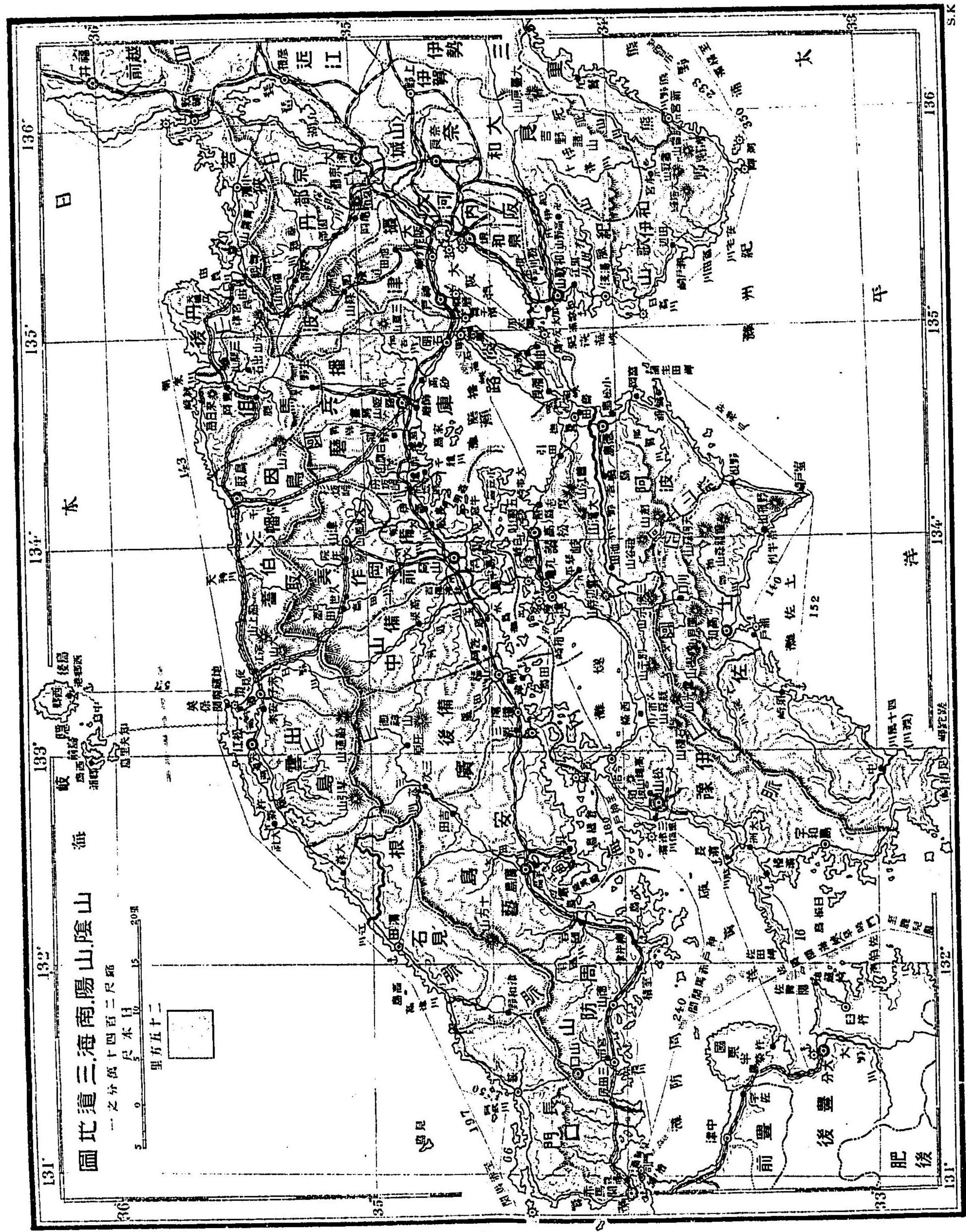
高知ハ山ヲ負ヒ、入江ニ臨ミ、風景佳キ地ニシテ高知縣廳此ニアリ。當國ヲ





管ス。高知ヨリ西南ナル須崎港ハ商業ノ繁昌高知ニ亞ギ、殊ニ有名ナル土佐半紙ハ此ノ周圍ニ製造セラレ、半紙ノ名ヲ須崎及ビ高岡郡ノ名ト稱シテ賣買ス。西南隅ハ極メテ僻地ニシテ、土佐一般ニ瘠地ナル中ニ就キテ最モ瘠地ナレド、海濱ノ風景絶佳ニシテ漁業甚ダ盛ンニ、有名ナル土佐節、土佐珊瑚、土佐駒ハ多ク此ノ地ヨリ出ヅ、殊ニ土佐節ハ天下第一ト稱セラル。

南海道概要 南海道ハ四國ト淡路ト本州ノ紀伊トヨリ成ルト雖モ、其ノ山脈ハ一貫ノ脈ナルコト上ニ云ヘルガ如シ。四國山脈ハ四國ニ於テ南北ノ分水界タルコト、大凡中國ニニ於ケル中國山脈ノ如シ。其ノ最高峯石槌山ハ中國ノ最高峯大山ト殆ト相等シクシテ稍高シ。阿蘇火山脈ガ四國



管ス。高知ヨリ西南ナル須崎港ハ商業ノ繁昌高知ニ亞ギ、殊ニ有名ナル土佐半紙ハ此ノ周圍ニ製造セラレ、半紙ノ名ヲ須崎及ビ高岡郡ノ名ト稱シテ賣買ス。西南隅ハ極メテ僻地ニシテ、土佐一般ニ瘠地ナル中ニ就キテ最モ瘠地ナレド、海濱ノ風景絶佳ニシテ漁業甚ダ盛ンニ、有名ナル土佐節、土佐珊瑚、土佐駒ハ多ク此ノ地ヨリ出ヅ、殊ニ土佐節ハ天下第一ト稱セラル。

南海道概要 南海道ハ四國ト淡路ト本州ノ紀伊トヨリ成ルト雖モ、其ノ山脈ハ一貫ノ脈ナルコト上ニ云ヘルガ如シ。

四國山脈ハ四國ニ於テ南北ノ分水界タルコト、大凡中國ニニ於ケル中國山脈ノ如シ。其ノ最高峯石槿山ハ中國ノ最高峯大山ト殆ト相等シクシテ稍、高シ。阿蘇火山脈ガ四國

山脈ノ北ニ並行スルハ、恰モ中國ノ白山火山脈ニ比スベシ。四國山脈ガ太平洋ノ風ヲ受ケテ雨ヲ結バシメ、隨テ内海岸ヲシテ雨少カラシムルコト、亦猶中國山脈ノ西北風ニ於ケルガ如シ。故ニ内海岸ニハ齋田ヲ初メ鹽ヲ産スル地多ク、山脈以南即チ土佐ハ本邦中最モ雨多キ地ノ一ナリ。地味ハ内海岸ニ肥沃ナル所アリテ山脈以外ハ一般ニ礫礫ナルコト、亦中國ニ似タリ。氣候ハ山陽道ニ比スレバ更ニ溫暖ナルガ故ニ、隨テ暖國性ノ産物多シ、即チ柑橘類、藍砂糖等ナリ。鐵道ハ和歌山地方ト畿内ト相通シ、四國ノ海岸亦漸ク其ノ端緒ヲ開ケリ。海運モ四國ノ内海岸ト紀伊ノ西海岸トニ多クシテ、其ノ他ハ少シ。人情ハ一般ニ寛柔ト稱スレドモ、其ノ交通頻繁ナル地方ハ皆伶俐ニシテ、土佐ニ至リテ

ハ武健ノ風アリ。

第十四章 西海道

豊前國

山陽鐵道ノ終點ナル馬關ヨリ早柄海峽ヲ渡レバ、九州ノ北端ナル豊前ノ門司ナリ。

豊前ハ所謂九州山脈ヲ以テ西ノ方筑前ト界シ、其ノ枝脈ニヨリテ南ノ方豊後ト界セリ。ソモ此ノ九州山脈ト云ヘルハ外觀上九州ヲ縦貫シテ脊梁ヲ成シ、其ノ左右ニ出デタル脈ヲ以テ兩側ノ國國ヲ界シ、諸水脊梁ヨリ左右ニ分水シテ海ニ入ルノ狀、殆ト中國ニ同シ。故ニ各國ノ山勢水理大抵單一ニシテ、一一之ヲ説カズ。然レドモ其ノ所謂九州山

九州山脈

小倉

脈ナル者ハ一貫ノ脈ニ非ズシテ、實ハ種種ノ山脈ノ集合ナルコトハ後ニ説クベシ。

九州鐵道ハ門司ヨリ耶

起リ、西ノ方小倉ニ至ル、

此ハ小倉織ノ本場ニシ

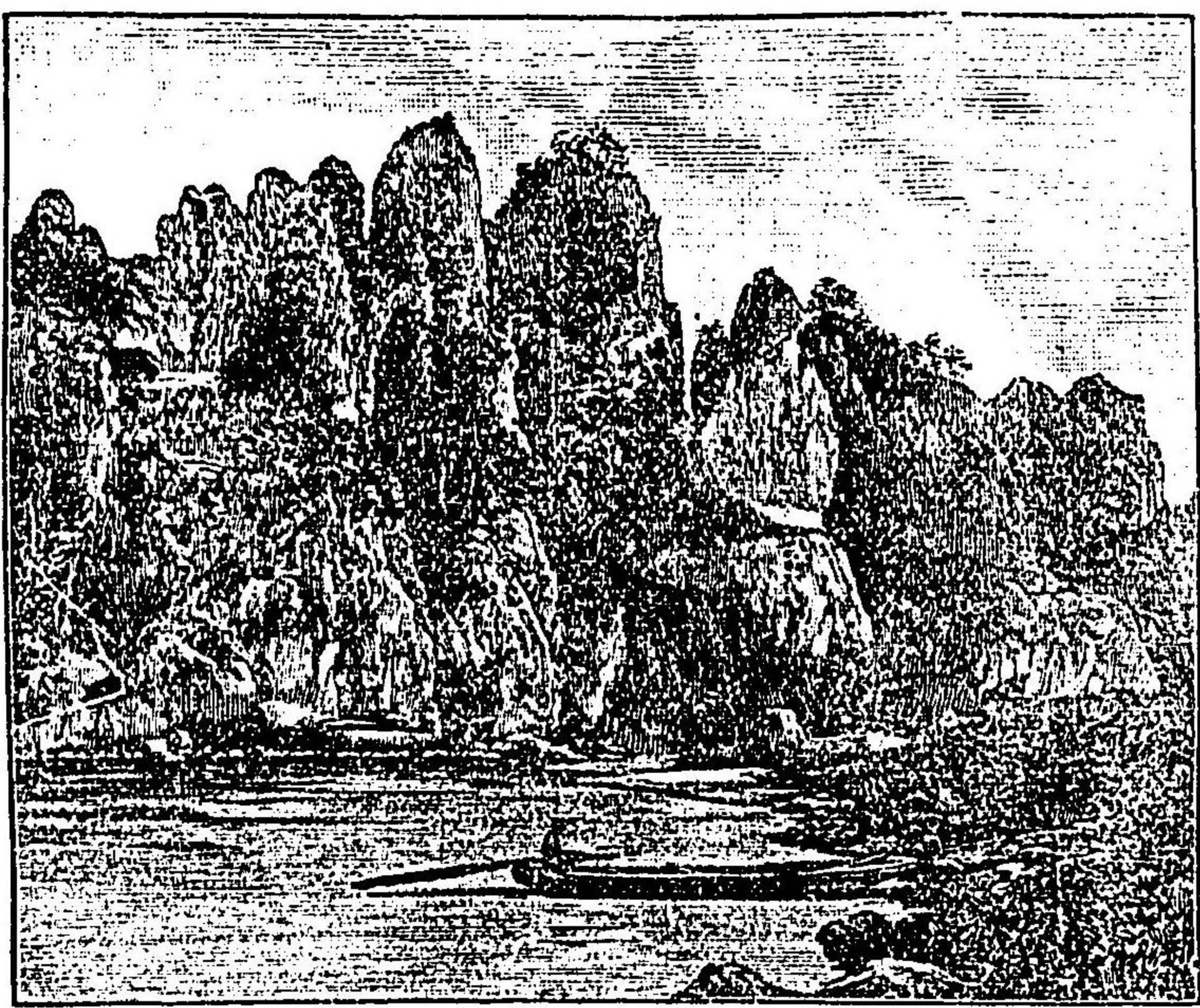
テ、西部都督部アリ、又第

十二師團ノ位地ナリ。

小倉ヨリ街道左右ニ通

シ、一ハ九州街道即チ九

州西岸ノ街道ニシテ、一



ハ東岸ノ街道ナリ、而シテ九州鐵道幹線ハ九州街道ニ沿ヒテ筑前ニ入り、支線ハ東岸街道ニ沿フ。

東岸線ハ更ニ支線ヲ出シ、豊前、筑前ノ炭山地方ヲ遠ル。

東岸ノ本線ハ當國ノ名邑中津ヲ過グ。中津ニ注グ所ノ中

津川一名山國川ハ彦山權現ヲ以テ聞エタル彦山ヨリ發シ、

耶馬溪

其ノ上流ナル山國谷一名耶馬溪ハ奇景ヲ以テ稱セラル。

鐵道ハ進ミテ西境ニ近キ宇佐ニ至レリ。宇佐ノ八幡宮ハ

昔和氣清麻呂ガ神勅ヲ請ヒシ所ナリ。諸子ハ今暫ク東岸

諸國ノ地理ヲ觀テ然ル後九州鐵道幹線ニ沿ヒ、西岸諸國ヲ

觀察スベシ。

豊後國

豊後ハ國東半島ヲ頭トシテ雀ノ子ガ小サキ羽ヲ廣ゲタル形ニ似タリ。其ノ頭部ヨリ背部ヲ通シテ山岳起伏シ、水

勢ヲ二ツニ分テ、西部ノ水ハ筑後ニ入りテ筑後川トナル。此ノ西部ヲ汎稱シテ日田莊ト云フ。

東岸街道豊後ヨリ來リテ雀ノ咽喉部ヲ通ル、北ニ國東ノ

文珠岳アリ、南ニ豊後富士ノ稱アル由布岳アリ、東岸ニ出ツ

レバ別府ノ温泉アリテ甚ダ繁昌セリ。別府ヲ過ギテ大分

ニ至レバ大分縣廳アリ、當國及ビ豊前ノ東部ヲ管ス。街道

此邊ヨリ南ニ折レ、暫ク海岸ヲ離レテ日向ニ入ル。然レド

モ若シ大分ヨリ更ニ海岸ニ沿ヒテ進マバ伊豫ノ佐田岬ト

相對セル佐賀關ニ至ルベシ。此ノ國ハ一般ニ雜穀多ク、特ニ國東其ノ他ノ大豆良質ナルヲ以テ、舊幕時代ヨリ市場ニ

大分

別相場ヲ立テタリ

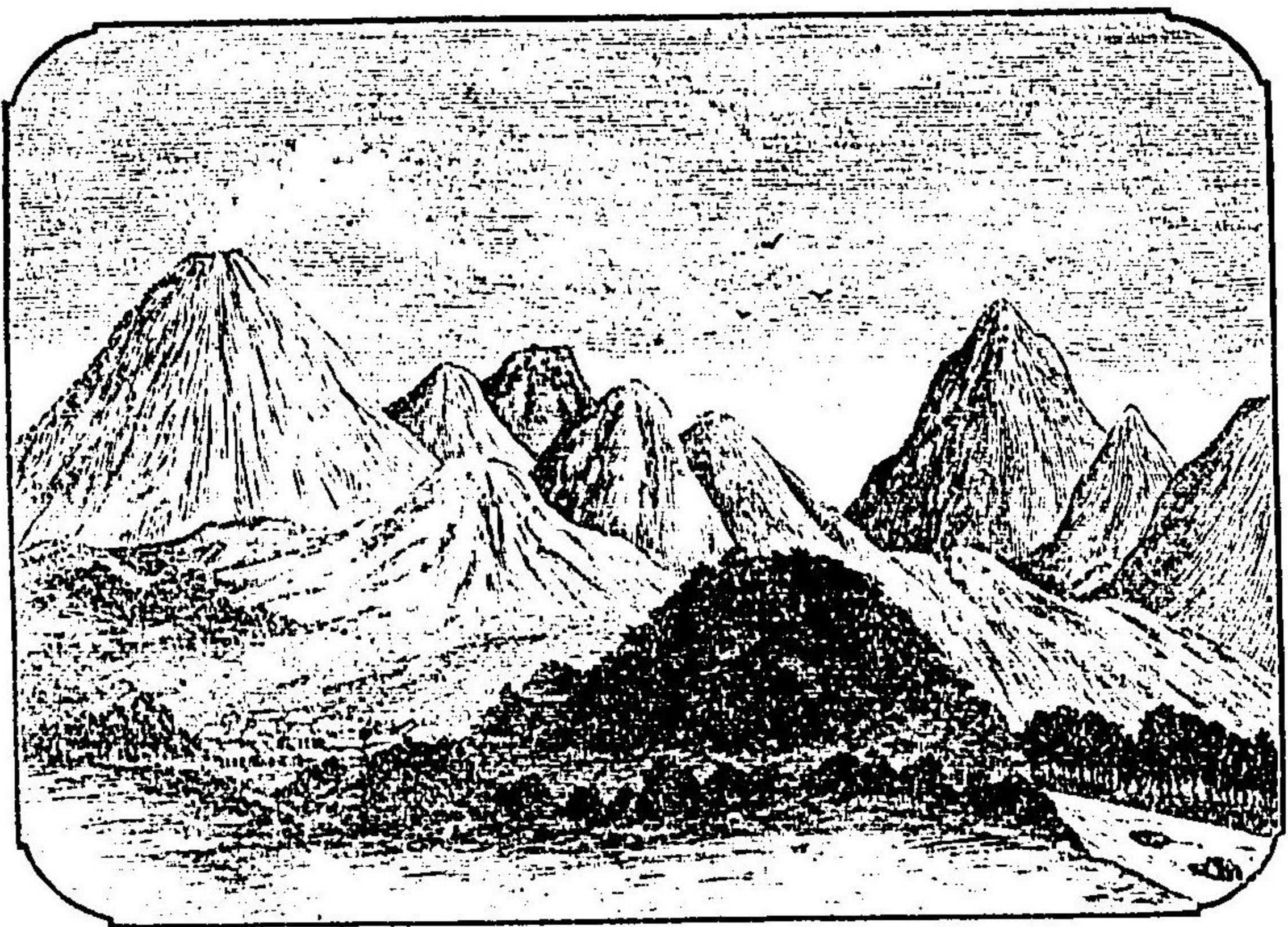
日向國

街道日向ニ入りテ又海濱ニ沿フ、前ナル海ヲ日向灘ト稱ス。延岡ハ五箇瀬川ノ下流ニアリ、爰ハ西南ノ役ノ末路ニ西郷隆盛ガ一タビ據リシ所ニシテ、北ニ峙テル可愛岳ハ隆盛ガ圍ミテ脱セシ所ナリ。川ノ上流ニ高千穂村アリ、瓊杵尊ヨリ神武天皇マデ歷世ノ皇居ナリシ高千穂宮ノ地ナリト稱セラルル所ノ一ナリ。延岡ヨリ海濱ノ諸名邑ヲ經テ宮崎ニ至ル、此ハ日向ヲ管スル宮崎縣廳ノアル所ニシテ大淀川ニ跨レリ。街道海濱ヲ離レテ大淀川ノ支流ニ溯レバ、大隅境ニ近キ都城アリ、是亦高千穂宮ノ跡ナリト云ハル。

高千穂

宮崎

霧島山



其ノ西北大隅境ニ峙テル霧島山ハ東西二座ノ活火山ニシテ、東岳ハ即チ天孫降臨シ給ヒシ高千穂日向ノ峯ナリト云ヒ、絶頂ニ立テル天逆鉾ハ永ク吾ガ神皇ノ武徳ヲ表セリ。

山 此クノ如ク日向ハ最モ古キ帝都ノ地ナリト雖モ、山ハ險阻ニシテ、海ニ良港ナク、交通便ナラズ、人烟猶稀疎ナリ。故ニ産物ハ材木、薪炭、椎茸等

山林産物ヲ主トシ、就中日向椎茸ハ最モ廣ク諸郡ニ産ス。

筑前國及ビ筑後國

諸子ハ今ヨリ九州鐵道ノ幹線ニ移ラン。九州鐵道小倉ヨリ來リ、玆ニモ亦支線ヲ出シテ炭山地方ヲ遶リ、其ノ一端ハ海濱ノ若松港ニ達ス。若松近傍ノ海岸ナル八幡村ニハ製鐵所アリ、其ノ鐵鑛ハ釜石或ハ中國産ヲ用フベキ豫定ナリシニ、運賃等ノ關係ニヨリテ支那ノ楊子江邊ノ大冶鐵山ノ鐵鑛ヲ用フ。

鐵道幹線ハ進ミテ西ニ向フ。箱崎ハ八幡宮及ビ千代、松原ヲ以テ有名ナリ。福岡ニハ福岡縣廳アリテ豊前ノ西部ト筑前、筑後トヲ管ス。博多ハ福岡ト市街ヲ連ネ、博多織ノ

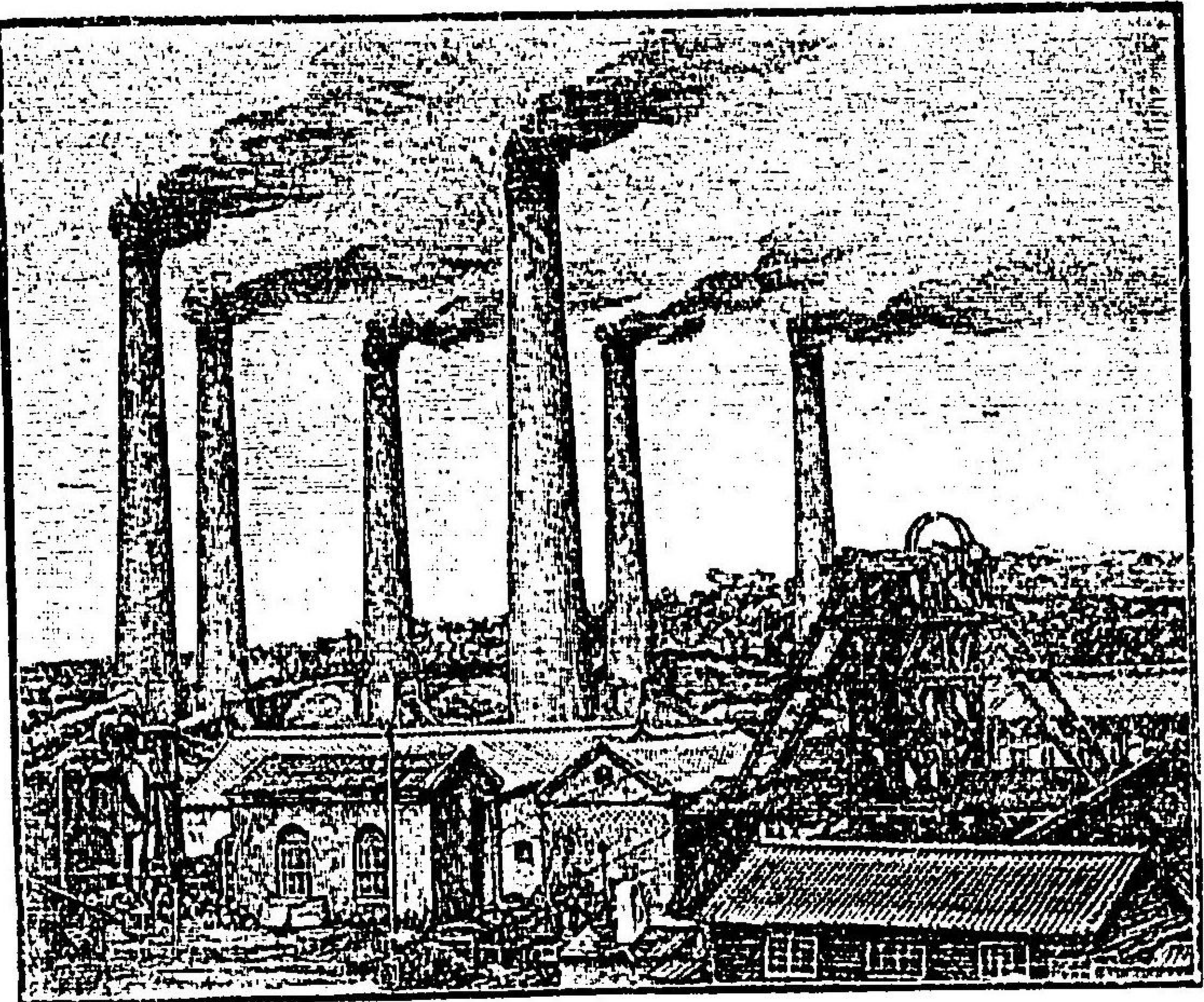
宰府

木場ナリ。前ニ博多港アリ、新開港ノ一ニシテ多ク石炭ヲ輸出セリ。更ニ南シテ宰府附近ヲ過グ。宰府ハ古ヘ太宰府ヲ置カレシ地ニシテ、菅公薨去ノ地ナルヲ以テ莊麗ナル菅公ノ社アリ。箱崎、博

太宰府



筑後川



三池炭鑛ノ一部

多ヨリ此ノ邊ニ至ルマ
デハ元寇ノ古戰場ニシ
テ、前ハ險惡ナル玄界灘
ナリ。鐵道ハ更ニ南進
シ、肥前ノ東北隅ヲ掠メ
テ筑後ニ入ル。肥筑ノ
境ニ筑後川アリ。
筑後川ハ豊後ノ日田
莊ヨリ出デテ筑紫潟ニ
注グ。筑紫トハ古ヘ兩
筑地方ヲモ又九州一帯
ヲモ稱セシ名ナリ。筑

最盛ノ炭鑛

後川ハ昔南朝ノ忠臣菊池肥後守武光ガ八千ノ兵ヲ以テ少
武頼尙ガ六萬ノ大軍ヲ擊破リシ所ナリ。川ヲ渡レバ久留
米ニシテ、久留米耕ノ產地ナリ。其レヨリ柳河ノ東ヲ過ギ
テ肥後ニ入ル。肥後境ニ三池炭山アリ、炭鑛ノ最モ盛ンナ
ル者ノ一ニシテ、一日ニ千噸以上ヲ出ス。

肥前國

肥後ニ入ル前ニ、先ヅ肥前及ビ近海諸島ヲ觀察セン。肥
前ハ獨リ九州山脈ヲ離レテ、兩筑ノ西ニ突出セル半島ナリ。
此ノ半島ハ諸方ニ向テ枝多ク、屬島亦多ク、而モ海岸ニ凹凸
多クシテ、全國中海岸線最モ長キ國ナリ。
九州鐵道ガ兩筑過渡ノ點ニ於テ國ノ東北隅ヲ過グル時、

海岸線
最長ノ國

佐賀

直チニ支線ヲ發シテ大抵長崎街道ニ沿フ。佐賀ニ至レバ佐賀縣廳アリテ當國ノ東北部ヲ管ス。此ノ地ヨリ北ノ方鐵道將ニ唐津ニ通セントス。唐津ハ新開港ノ一ニシテ石炭ノ產地ナリ。佐賀ヨリ進ミテ有田ニ至ル、此ハ有名ナル有田燒ノ產地ニシテ、鐵道ノ支線ハ伊萬里港ニ至ル。伊萬里ハ陶器ノ輸出地ニシテ、古クヨリ陶器ノ產地ナレバ、有田燒モ亦伊萬里燒ノ名ヲ冒スコト多シ。唐津、伊萬里ノ間ニ突出セル半島ノ名護屋ハ豐太閤征韓ノ時本營ノ地ナリ。鐵道ハ有田ヲ過ギテ後、左右ニ分レ、左ハ南ノ方長崎ニ達シ、右ハ佐世保ニ至ル。佐世保ハ九州西岸ヨリ琉球海ヲ管スル軍港ニシテ鎮守府アリ。其ノ西北ニ平戸島アリ、此ハ葡萄牙人ト始メテ互市ヲ開キシ地ナリ。平戸ト本陸トノ

長崎

間ヲ平戸、瀬戸ト稱シ、横濱、神戸ヨリ長崎乃至支那ニ航スル船ハ皆瀬戸内海、玄界灘ヲ經テ此ノ海峽ヲ通過ス。平戸ト地勢相續キテ五島列島アリ、五島、鯨及ビ鯨有名ナリ。長崎ハ殆ト西南端ニアル良港ニシテ五港ノ一ナリ、長崎縣廳此ニアリ。當國ノ西南部及ビ壹岐、對馬ヲ管ス。舊幕府ノ鎖港時代ニモ獨リ此ノ港ヲ開キテ支那及ビ和蘭船ノ貿易ヲ許シタリ。長崎煙草、雲丹、鱒、鰯等有名ナリ。海上ノ高島ハ最モ良質ノ石炭ヲ出ス處ナリ。長崎ノ東ニ島原半島アリ、其ノ形囊ノ如クニシテ筑紫瀉ノ灣口ニ當レリ。中央ニ峙テル活火山溫泉岳ハ其半腹ナル島原溫泉ヨリ名ヲ得タリ。當國ノ山脈ヲ按ズルニ五島、平戸ヨリ起リテ國內ニ蔓延

三池炭
山脈

シ、筑前ニ延ビ、一派ハ三池炭山ノ脈トナリ、筑後ノ境ヲ遶リテ北ノ方筑前、豊前ノ炭山トナリ、門司ニ至ル、全國中最も多ク石炭ヲ供給スル山脈ナリ。其ノ岩石ノ質ハ中國山脈ト同シ、蓋シ中國山脈ガ海ヲ越エテ現レタル者ナリ。是九州山脈ヲ分拆セル一部ニシテ、此ノ部分ヲ筑紫山脈ト云フ。

壹岐國及ビ對馬國

本邦中
最小國

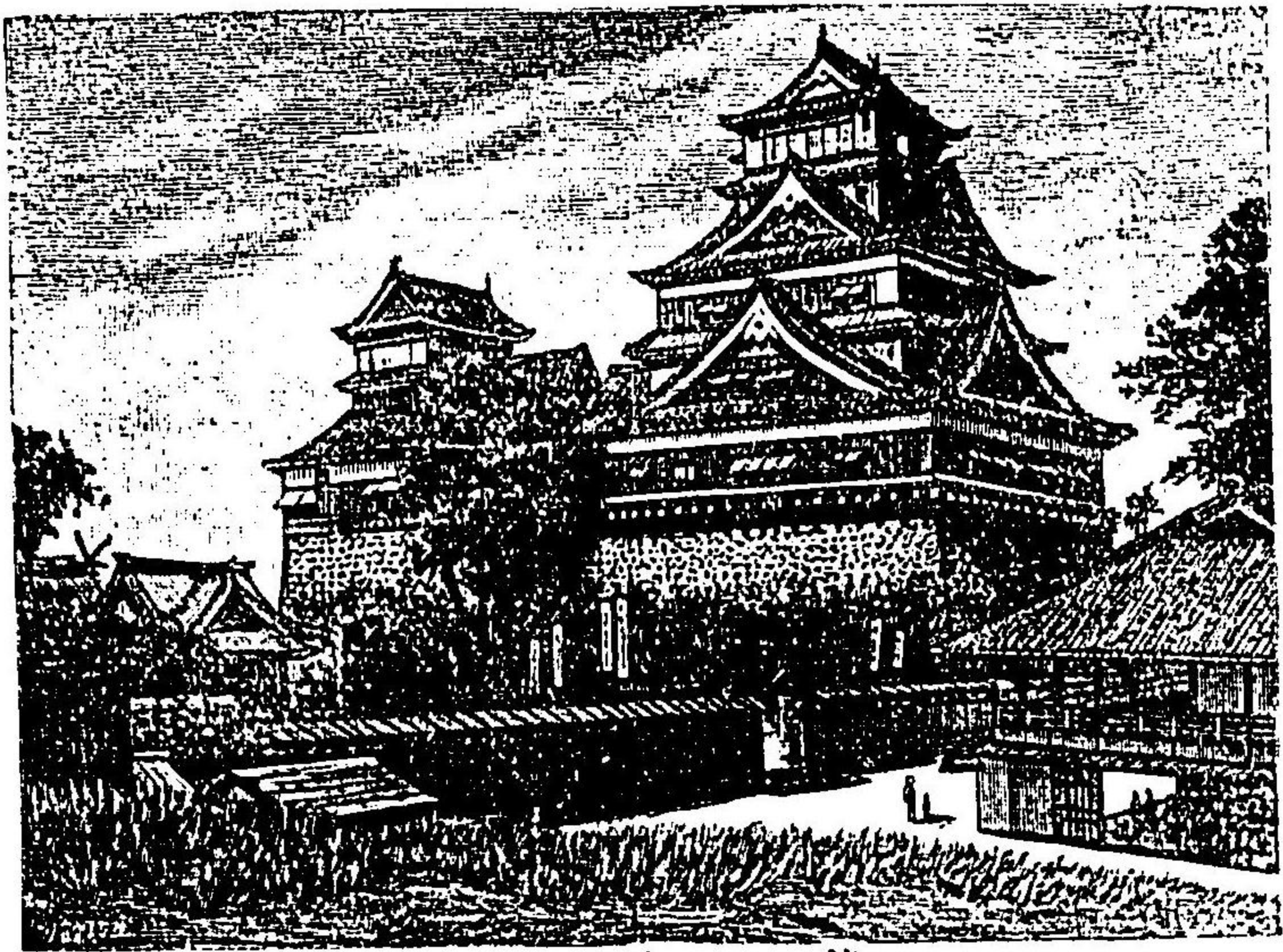
壹岐ハ肥前ノ北ナル島國ナリ。面積八方里許ニシテ全國中ノ最小國ナリ。此ノ國隱岐火山脈ヨリ續キテ平戸、五島ノ火山脈ニ連ナレリ。對馬ハ壹岐ノ西北ニアリテ、韓國ト海路僅ニ三十里ヲ隔テタル島國ナリ。一國上下二島ニ分レ、上島ナル嚴原ハ新

開港ノ一ニシテ、島司廳アリ警備隊アリ。此ノ國古ヘヨリ外交ノ衝ニ當ルヲ以テ人民愛國敵愾ノ氣象ニ富メリ。地味硬礫ナレドモ漁利頗ル多ク、長崎鯨、長崎雲丹ハ實際此ノ地ノ産ナル者多シ。

肥後國

筑後ヨリ此ノ國ノ熊本ニ至ルニ、高瀬川一名菊池川ヲ渡ル。此ノ流域ハ全國第一等ニ位セル肥後米ノ中、殊ニ良質ト稱セララルル菊池米ノ産地ナリ。熊本ハ肥後ヲ管スル熊本縣廳ノ所在地ナリ。第六師團司令部ナル熊本城ハ加藤清正ガ築キシ名城ニシテ、カノ十年ノ役ニ西郷隆盛ガ薩摩健兒ヲ率井テ攻メアグミシ所ナリ。熊本ヲ出デテ直チニ

三急流



熊本城

白川ヲ渡ル、其ノ發源スル所
ハ大活火山阿蘇山ノ舊火口
湖ナリ、此ノ山ノ事ハ後ニ云
フベシ。
九州鐵道ハ進ミテ八代ニ
至レリ。是ヨリ南薩摩ノ鹿
兒島ニ至ル線路ハ工事中ニ
シテ他日遂ニ東岸線ニ循環
スベシ。八代附近ニ落ツル
球摩川ハ木曾川、最上川ト共
ニ日本三急流ノ一ナリ、其ノ
上流ナル五箇莊ハ平家ノ落

不知火
筑紫平野

人ノ隱處ト云ヒテ、維新前ハ世間ト交通セズ、別ニ一天地ヲ
成シタリキ。八代ノ前面ニ天草島アリ。天草ト八代トノ
前ナル内海ヲ八代海ト云ヒ、初秋ノ頃海上ニ燐光ヲ發ス、是
筑紫ノ「不知火」ナリ。大凡菊池川ヨリ球摩川ニ至ルマデハ
筑紫平野ニシテ、川流疏通シ田野開ケタリ、其ノカミ加藤清
正ノ經營セル者多シト云フ。

九州最
高山

此ノ國ノ山脈ヲ按ズルニ、天草島邊ヨリ起リテ肥後ノ南
境ニ沿ヒ、北シテ日向境トナル、其ノ市房山ハ九州ノ最高峯
ニシテ直立六千尺、亦富士ノ半ニシテ、中國、四國ノ最高峯ト
伯仲ス。其レヨリ遂ニ日向、豊前ノ間ニ蟠リテ、可愛岳等ト
ナリ、海ヲ渡リテ四國山脈トナル。此ノ山脈ヲ南部山脈ト
名ヅケ、之ニ對シテ筑紫山脈ヲ北部山脈ト稱ス。此ノ南北

可愛岳
ノ脈

阿蘇火山脈
 兩山脈ノ間ニ阿蘇火山脈噴起シテ西ハ温泉岳ヨリ北ハ彦山及ビ豊後富士トナリ、國東ノ文珠岳トナリ、海ヲ越エテ四國ノ象頭山等トナリ、大和、伊勢ヲ通過シテ、遂ニ三河ノ鳳來寺山トナル。

薩摩國、大隅國及ビ大隅諸島

霧島火山脈
 薩摩、大隅ハ其ノ間ニ鹿兒島灣ヲ夾ミテ、稍兩脚ノ狀ヲ成セリ。此ノ二國ハ九州山脈ノ最南部ナル霧島火山脈ノ蟠ル所ニシテ、殆ト全部火山質ヲ以テ成レリ。

鹿兒島
 九州街道肥後ヨリ來リ、川内川ヲ渡リ、芹野金山及ビ薩摩燒ノ產地ノ附近ヲ過ギ鹿兒島灣頭ナル鹿兒島ニ至ル。鹿兒島ハ薩摩、大隅及ビ大隅諸島ヲ管スル鹿兒島縣廳ノ所在

地ニシテ、維新ノ元勳蓋世ノ英雄西郷隆盛ガ生マレシ所、其ノ市西ナル城山ハ十年ノ役ニ隆盛ガ敗死セシ所ナリ。此地亦陶器及ビ薩摩緋ヲ産ス、然レドモ薩摩緋ノ多クハ實ニ琉球ノ産ナリ。灣内ノ櫻島ハ大根ニ有名ナリ、其ノ櫻島岳ハ形富士ニ似タル活火山ナリ。鹿兒島ヨリ南ノ方沿海ノ縣道ヲ行ケバ、軍馬育成所アリ、煙草ノ產地アリ。國ノ南端ニ峙テルハ薩摩富士ト稱セララル海門岳カイモン（又開聞岳）ニシテ、航海ノ目標タリ、其ノ西方ノ海濱ハ鱧ノ漁獵盛ンニ、薩摩節ハ土佐節ニ次ギテ天下ニ稱セラル。凡ソ馬、烟草及ビ黃金ハ薩、隅處處ニ産出シ、殊ニ黃金ハ産額佐渡ニ伯仲セリ。甘藷ハ四時到ル處之ヲ産シ、國人ノ常食タリ、故ニ「さつまいも」ト云フ。

間錐形
ノ山

櫻島及ビ海門岳ハ霧島火山脈ニシテ、延キテ海南ノ諸島
及ビ臺灣ニ至リ、北ハ肥後ノ海岸ニ延ビテ、肥前ノ溫泉岳ニ
接セリ。我等ハ前章ヨリ南部富士、津輕富士、但馬富士、豊後
富士、薩摩富士等諸火山ノ名ヲ聞ケリ、以テ火山ニハ圓錐形
ノ者多キヲ知ルベシ。

更ニ鹿兒島ニ立返ラン。國道ハ鹿兒島ヨリ大隅ニ入ル。
大隅ノ國分ハ煙草ノ產地ニシテ、所謂薩摩國分是ナリ。其
レヨリ日向ノ都城ニ會スル道アリ。

薩隅ノ地ハ上古ノ熊襲國ニシテ國人今猶豪勇慍悍ニ名
アリ。

大隅諸島又薩南諸島トモ稱セラル、薩隅ヨリ西南ニ列シ
テ琉球ニ接スル島嶼ナリ。大隅ニ最モ近キ、細長キ島ハ種

子島ニシテ、天文年中西洋人初メテ鐵砲ヲ傳ヘシ地ナリ。

屋久島ハ鯉節ヲ産シ、寶七島一名土噶喇群島ハ七島表(疊表)

ノ產地ナリ。次ニ大島ハ大島紬ノ產地ニシテ、之ニ並ビテ
喜界島アリ。其ノ他德之島、沖之永良部島、興論島ヲ重ナル

者トス。

琉球

琉球ハ源爲朝ガ伊豆ノ大島ヨリ逃レ來リシ所ニシテ、其
ノ子孫天王内亂ヲ平ゲテ王位ニ居リ、子孫相承ケテ明治ノ
世ニ至レリト云フ。近代マデ日清兩屬ト稱シテ兩方ニ朝
貢セシヲ、維新ニ至リ吾ガ國ニ專屬セシメ、一致ノ政治ノ下
ニ沖繩縣トセラレタリ。

那霸

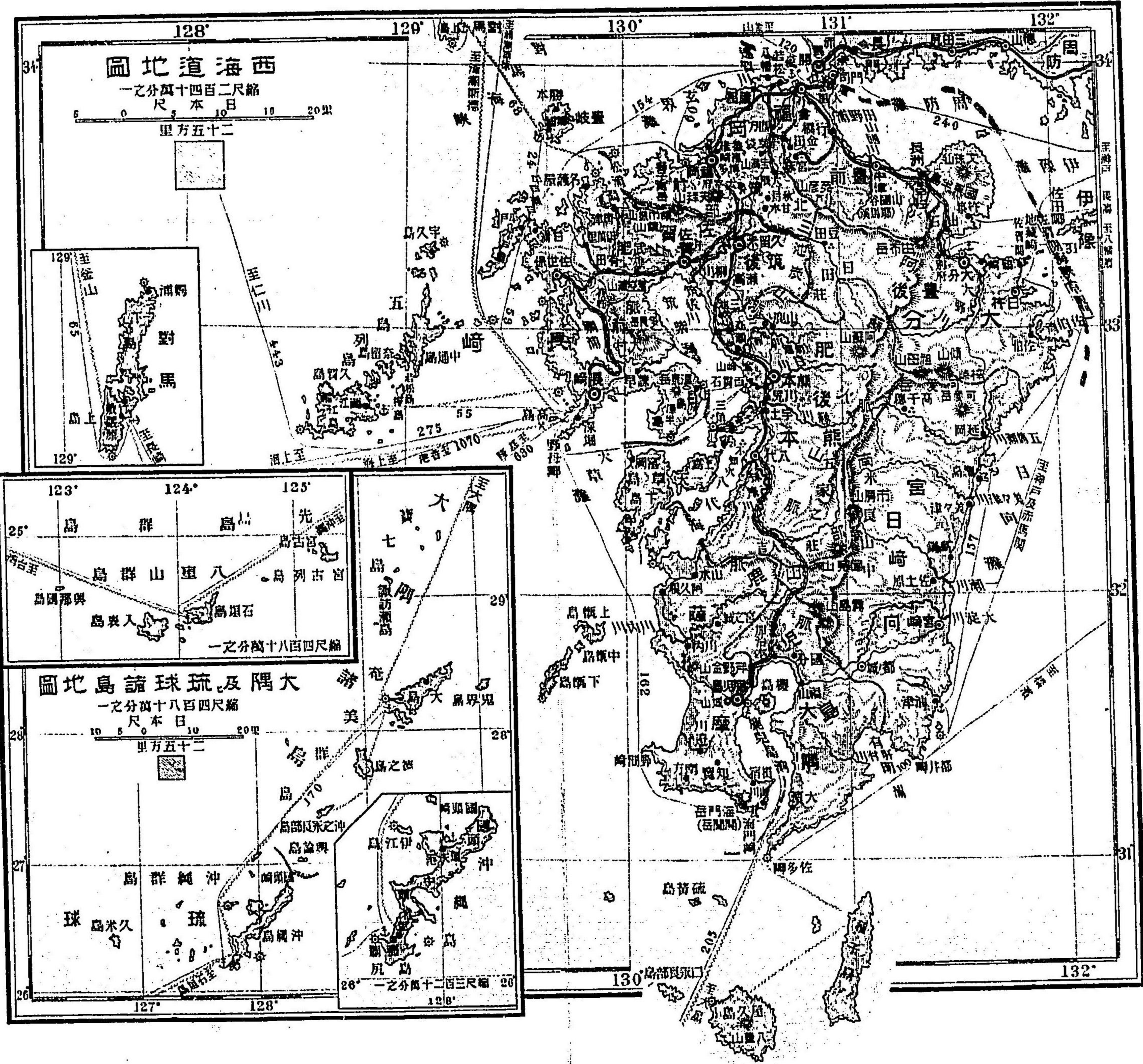


ナリ。那霸近邊ナル首里ハ舊ノ王城地ナリ。先島群島ハ

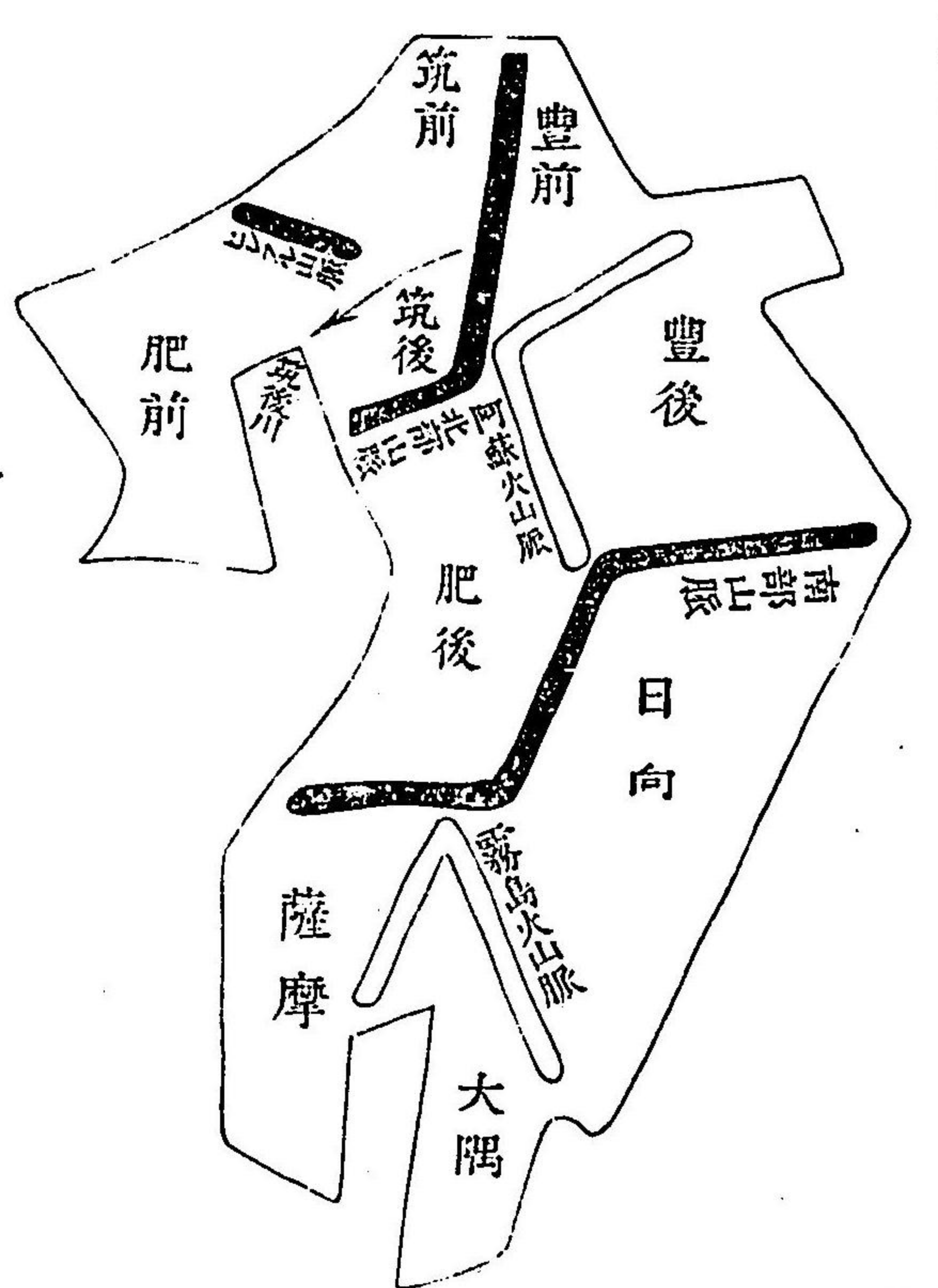
琉球ハ沖繩群島、先島群島ノ二
群島ヨリ成レリ。其ノ沖繩群島
ハ直チニ輿論島ニ接シ、沖繩島ヲ
以テ主島トス。沖繩島ハ細長キ
里島ニシテ、山脈之ヲ貫キ平地甚ダ
中少シ。島ノ南部ナル那覇港ハ新
山開港ノ一ニシテ、沖繩縣廳此ニア
リ。鹿兒島ヨリ大島ヲ經テ四百海
里ナリ。有名ナル薩摩絣及ビ上
布ハ多ク那覇ヨリ出テ、其ノ他琉
球紳、琉球泡盛及ビ琉球塗皆有名

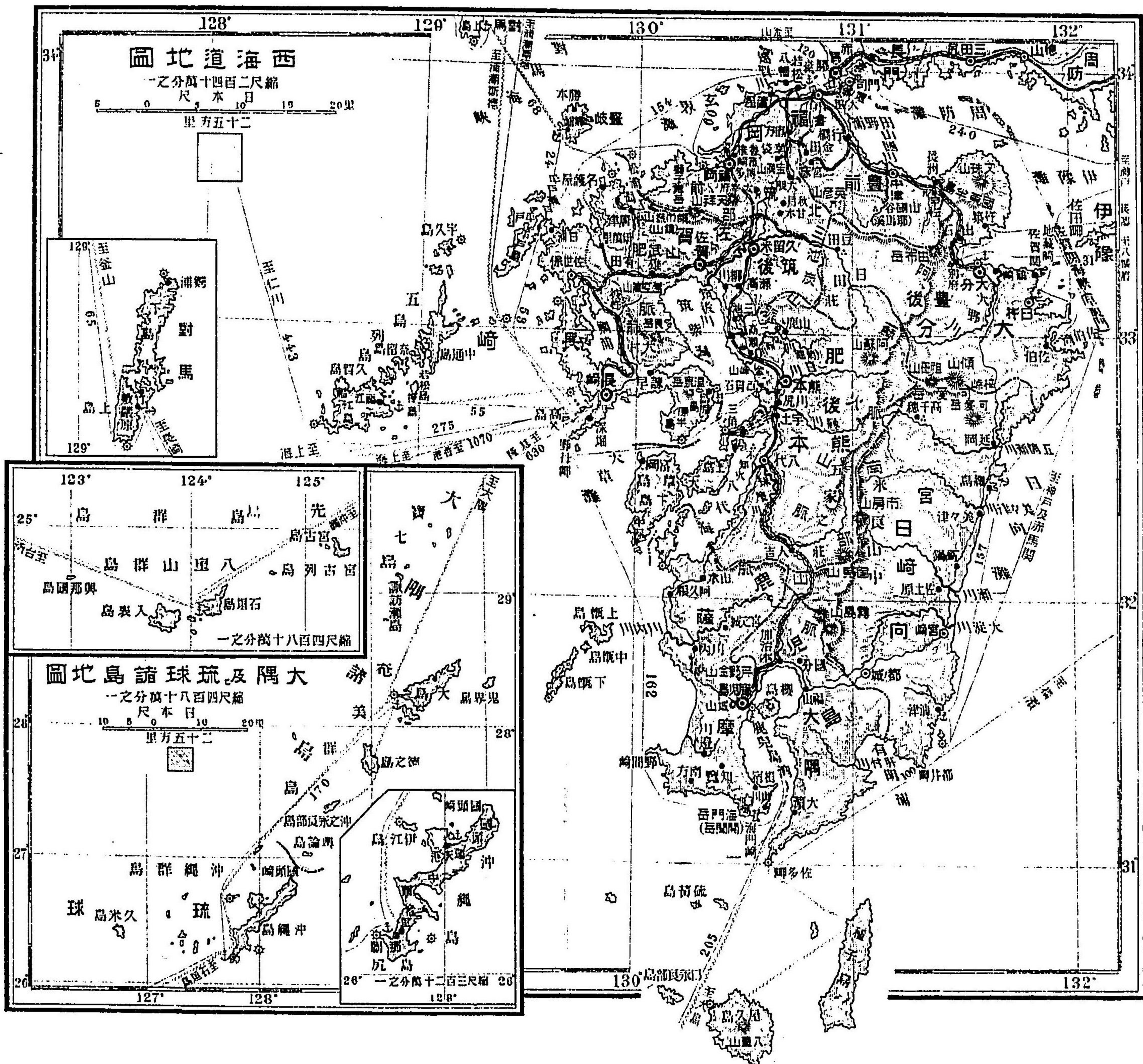
宮古列島ト八重山群島トヨリ成レリ。

地味ハ一般ニ瘠セ、國人多ク甘藷ヲ常食トス、サレバ甘藷
ナ亦「りうきういも」トモ稱セリ。甘藷ニモ適セザルノ地ニ
ハ蘇鐵ヲ植エテ其ノ幹ヲ食フ。地形狭小ニシテ深山大澤
ナキ故、熱國ナレドモ猛獸棲息セズ、唯飯、七情ト稱スル毒蛇
アリテ人ヲ害ス。言語風俗ハ元來本土ト大同小異ナリシ
ガ、置縣以來専ラ普通教育ヲ施サルル故、風化日ニ新ナルベ
シ。人情ハ極メテ温順ナリ、交通益、開ケ、見聞日ニ多カラ
ニハ其ノ狭固ナル者應ニ面目ヲ變ズルニ至ルベシ。
西海道概要 西海道ノ重ナル部分ハ九州ニシテ、其ノ大サ
北海道本島ニ半シ、四國ニ二倍ス。既ニ云ヘル如ク九州諸
國ハ地勢單簡ナレド、山脈ハ複雑ナリ、今略圖ヲ以テ國界ノ

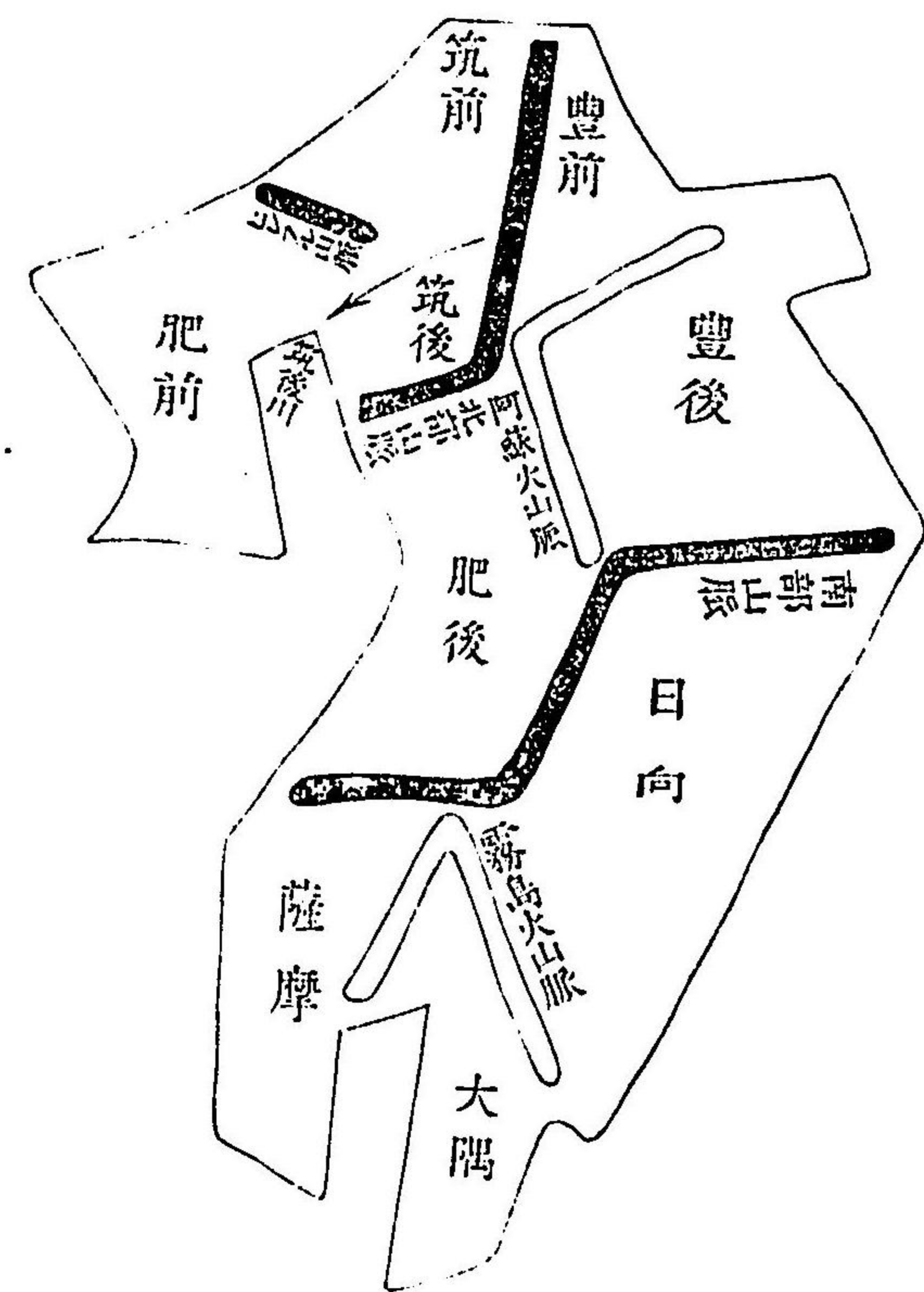


山河ヲ示サバ、大凡圖ノ如クナルベシ。氣候ハ北海岸ノ各地及ビ壹岐對馬即チ日本海ノ西北風ヲ受クル地ヲ除キテハ、皆溫暖ニシテ、年中霜雪ヲ見ルコト罕ナリ。然レドモ其ノ南國ナル割合ニハ夏季ノ溫度甚ダ高カラズ、若シ一日ノ最高度ヲ比較セバ、或ハ中國、北國ヨリ低キコトアルベシト雖モ、唯其ノ時限甚ダ長ク、一日





山河ヲ示サバ、大凡圖ノ如クナルベシ。氣候ハ北海岸ノ各地及ビ壹岐、對馬即チ日本海ノ西北風ヲ受クル地ヲ除キテハ、皆溫暖ニシテ、年中霜雪ヲ見ルコト罕ナリ。然レドモ其ノ南國ナル割合ニハ夏季ノ溫度甚ダ高カラズ、若シ一日ノ最高度ヲ比較セバ、或ハ中國、北國ヨリ低キコトアルベシト雖モ、唯其ノ時限甚ダ長ク、一日



自然生
ノ茶

ニシテハ高度夜ニ亘リ、一年ニシテハ六月ヨリ九月ニ持續ス。故ニ暑氣凌ギ難ク、平均溫度亦高シ。琉球ハ更ニ二百里ノ南ニアリト雖モ、小島國ノ性質トシテ、暑氣サノミ酷烈ナラズ、九州ノ最高九十六七度ニ及ベドモ、琉球ノ最高ハ九十二三度ノミ。然レドモ琉球ハ殆ト四季ノ別ナク、唯寒暖ノ二季アリ、隨テ暑氣ノ持續長ク、平均溫度稍、九州ヨリ高シ。風及ビ雨一般ニ多ク、殊ニ二百十日前後ノ颶風ノ中心ハ、常ニ南洋ヨリ本道ヲ經、北東ニ向ツテ進行ス。農産ハ肥後米ヲ第一トシ、肥前、薩摩ノ煙草等有名ナリ、其ノ他砂糖、藍、柑橘類ノ善ク成育スルコト、南海道ニ同シ。竹モ亦暖國ニ適スルガ故、薩、隅地方ニハ往往周圍三尺ノ者ヲ見ル。茶ハ未ダ名産ノ聞ユル者アラズト雖モ、到ル處自然生ノ茶樹アルヲ

以テ其ノ適地タルヲ知ルベシ。日向ニハ近來珈琲、幾那等熱國植物ヲ試植セリ。礦産ニハ黄金、石炭實ニ全國一二ノ産額ナリ。工業品ハ有田ノ陶器ヲ最トシ、薩摩燒、小倉織、博多織、薩摩緋、薩摩上布、大島紬、琉球紬等皆特絶ノ者ナレド、薩摩製品、大島紬等ハ人工ヲ要スルコト甚ダシク、産額割合ニ少シ。水産ニハ薩摩節及ビ長崎製品アリ。總ベテ九州ハ石炭ノ自由、工費ノ低廉、其ノ他種種ノ點ヨリ將來工業地トシテ甚ダ有望ナリト云フ。人情ハ一般ニ剛直、素樸ニシテ、薩、隅ノ人最モ慍悍ナリ。

第十五章 臺灣及ビ澎湖列島

臺灣及ビ澎湖ハ、戰國ノ頃ヨリ邦人ト支那人ト和蘭人ト

工業地

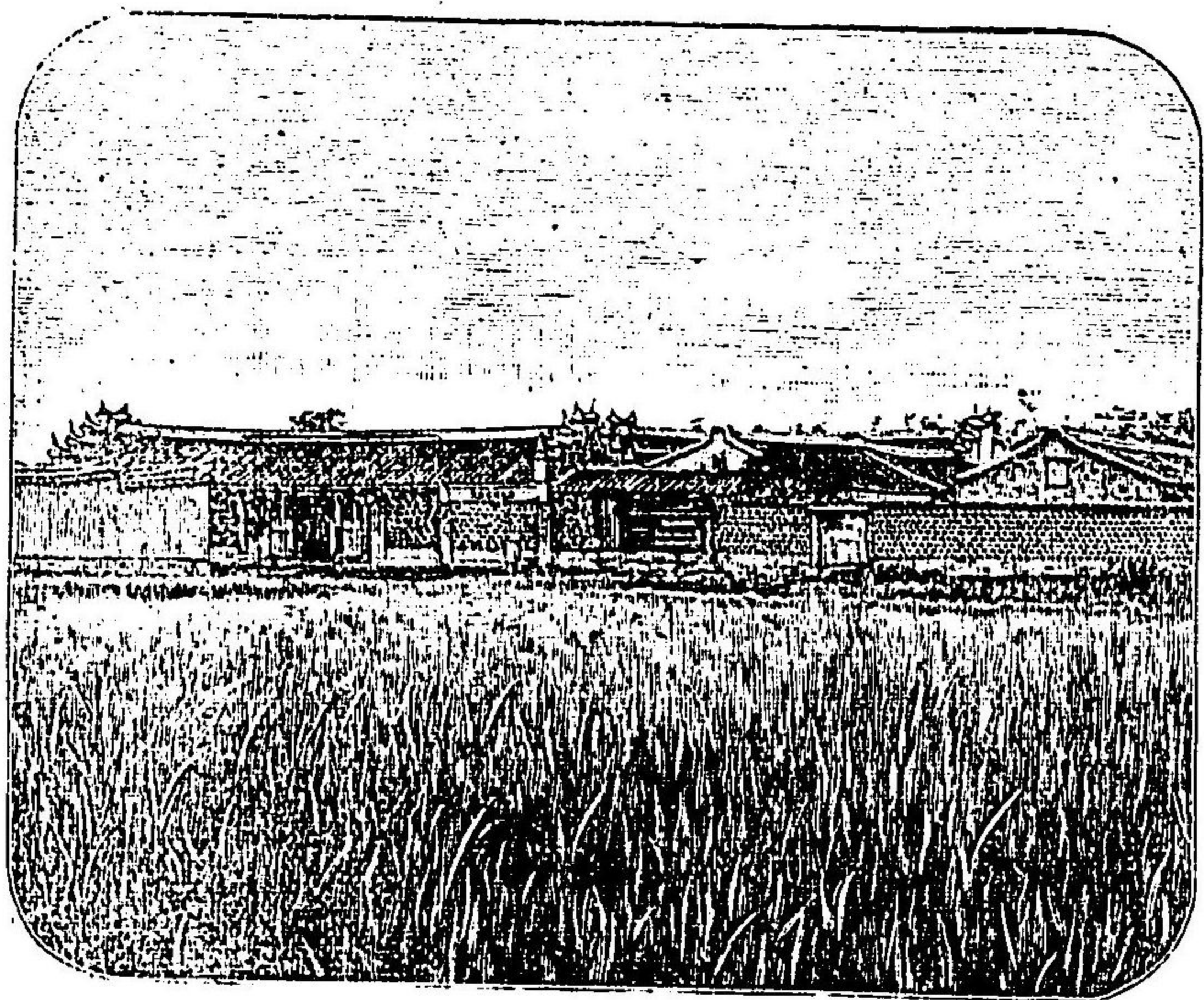
互ニ勢力ヲ競ヒシ地ナリ。而シテ臺灣ノ風景鬱蒼トシテ白波ノ間ニ立テルヲ以テ、洋人ハ美島ノ義ヲ以テふたるもさト名ヅケ、邦人ハ之ヲ高砂ト美稱セリ。斯クテ後我ハ久シク海外ト絶縁シ、支那人專ラ此ニ殖民シ、遂ニ支那版圖ノ姿トナリ、我ハ唯玉砂糖ノ名ニ臺灣ヲ識ルノミナリキ。明治七年臺灣征討ノ事アリ、爾時支那ハ金ヲ我ニ納レテ事寢ミニシガ、二十七八年ノ役ニ支那ハ媾和條件ノ一トシテ臺灣、澎湖ヲ我ニ割讓セリ。

臺灣ハ琉球ノ西南ニ位シ、臺灣海峡ヲ隔テテ支那ノ南部ト相對シ、長崎ヨリ西南海路三百里ニアリ。其ノ形南北ニ長ク、面積ハ大凡九州ト同シクシテ稍、小ナリ。新高山山脈^{ニホクヤ}中央ヲ縦貫シ、地勢ヲ東西二部ニ分テリ。西部ハ肥沃ナル

新高山山脈

平地ニシテ支那人及ビ本土人等ノ移住營業スル所ナリ。
 東部ハ一帶ニ深山幽谷ニシテ山勢直クニ海岸ニ迫リ北部
 ノ絶壁高サ六千尺ニ至リ世界有名ノ嶮岸ニシテ其ノ良港
 ナキ固ヨリ言テ俟タズ。而モ其ノ住民ハ本島固有ノ土人
 所謂生蕃ニシテ蒙味殘忍悍テ琉球人ヲ殺シテ我が討伐ヲ
 蒙リシ**牡丹社**ノ如キ者十餘社アリ文字ナク教育ナク胸當
 膝掛及ビ獸皮ノ外套ヲ着シ獸獵ヲ以テ生活スル外間牧畜
 耕作等ヲナス者アリ。何レモ皆支那人ヲ視ルコト仇敵ノ
 如ク多ク其ノ頭顱ヲ得ルヲ以テ名譽トセリ。土人ノ稍開
 化シタル者ハ出デテ支那人等ト共ニ業ヲ營ム之ヲ熟蕃ト
 稱ス。サレバ東部ハ目下殆ト未知ニ屬シ地理ノ語ルベキ
 者ハ唯西部ノミ今左ニ概要ヲ述ベシ。

臺灣ノ北端ニ半圓形
 ノ半島アリ其ノ突角ヲ
富貴角ト云フ。半島中
 ノ大屯山ハ休火山ニシ
 テ霧島火山脈ニ屬ス其
 レヨリ東岸ニ**回レバ金**
包里アリ黄金ヲ産ス更
 ニ東シテ半圓ノ頸ニ至
 レバ**基隆港**アリ本土ノ
 人上陸ノ要港ニシテ多
 ク臺灣炭ヲ輸出ス即チ
 此ノ附近ニ産スル石炭



ナリ。臺灣鐵道即ヶ基隆ヨリ起リテ南北ヲ縦貫スベキ者未ダ成ラズト雖モ、既成ノ輕便鐵道線路ニ隨ヒテ説クベシ。基隆ヨリ半圓形ノ後面ナル臺北ニ至ル。臺北ニハ臺北縣廳アリテ北部ノ一縣ヲ管シ、又總督府アリテ全島ヲ統轄ス。淡水河其ノ西ヲ流レテ半圓ノ西頸ナル淡水港ニ入ル、長サ二十里ニシテ實ニ全島第一ノ大河タリ。總ジテ臺灣ハ河流皆短小ナルヲ以テ淡水ノ外ハ河ト云ハズシテ溪ト云フ。淡水河ノ流域ハ嘗テ近衛師團ガ土匪征討ニ最モ苦戰セシ所ナリ、此ノ河ノ附近ハ良田多ク、一年二度ノ收穫アリ、南部ニ至リテハ收穫三度ニ至ル、蓋シ熱國ニシテ植物ノ成育盛ナルニヨル。淡水河畔ニハ亦大稻埕アリテ製茶ノ業盛ナリ。茶ハ臺灣輸出物中最高價額ヲ占ムル產物

臺北

ニシテ皆歐米ノ需用ニ供ス、其ノ栽培所ハ重ニ北部ノ高地ナリ。

新竹

臺北ヨリ新竹ヲ經テ臺灣(市街ノ名)ニ至ル間ノ山入りニ

臺中

苗栗アリ、是臺灣主要ノ產物ナル樟腦產地ノ一ナリ。大抵樟樹ハ東部山地ニ多シ。臺灣ニハ臺中縣廳アリテ中部ヲ

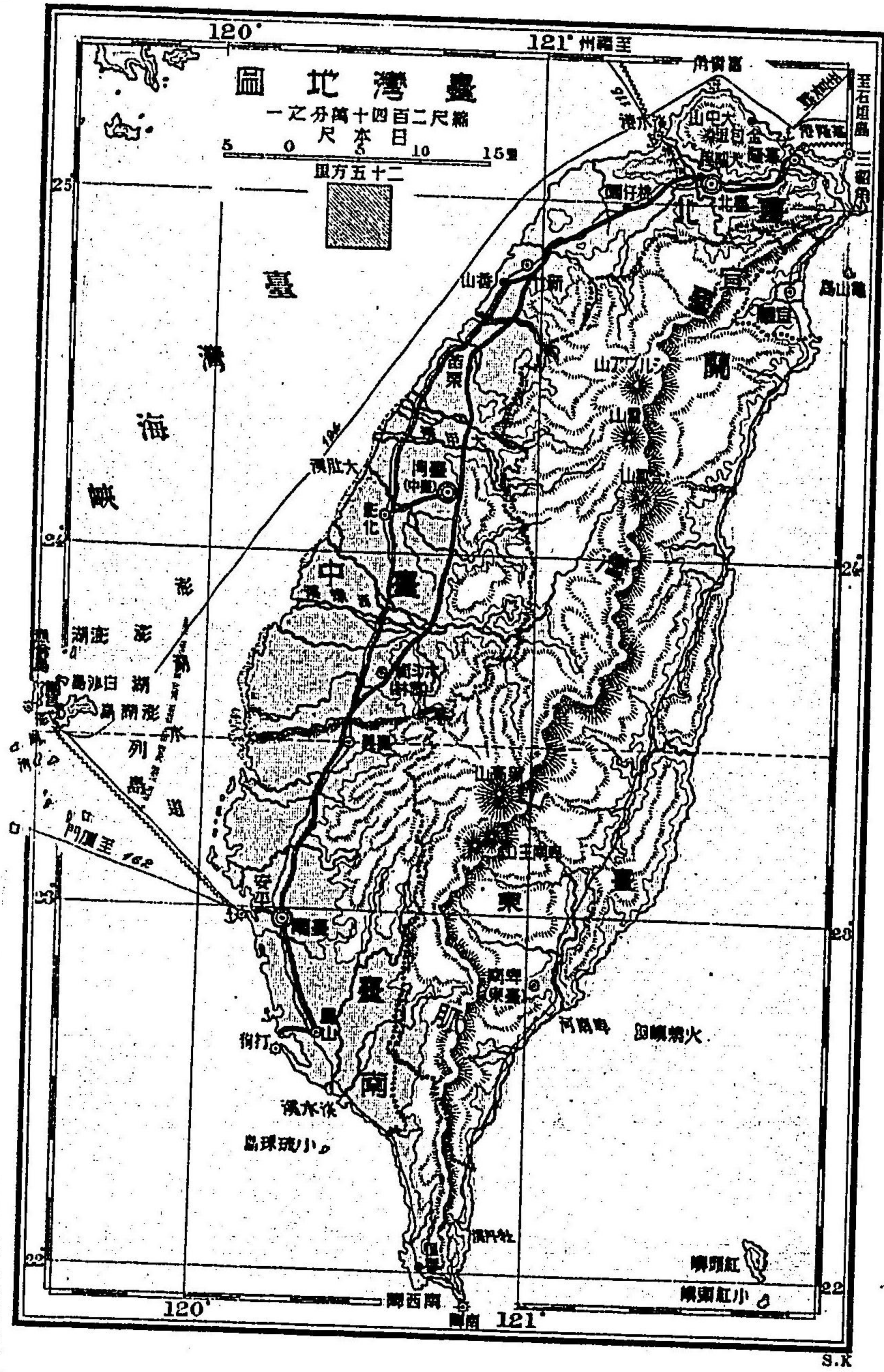
新高山

管ス。其ヨリ彰化アリ、嘉義アリ。新高山遙カニ嘉義ノ東

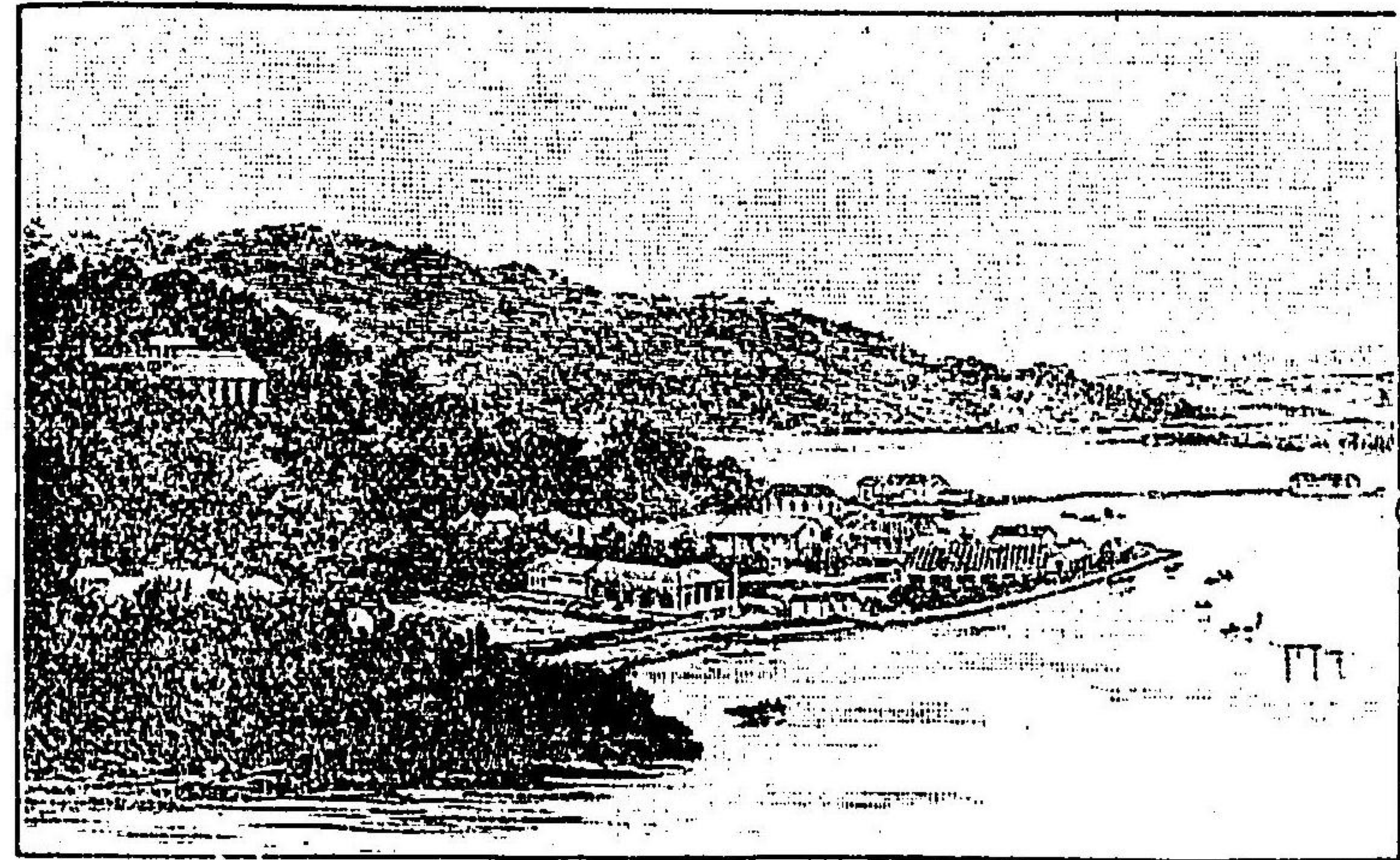
臺南

ニ立ナテ本土ノ富士ヨリ稍高ク、俗ニ臺灣富士ト稱ス。此ノ山本邦ノ最高峯ニシテ、支那人ハ玉山ト呼ビ、洋人ハもり

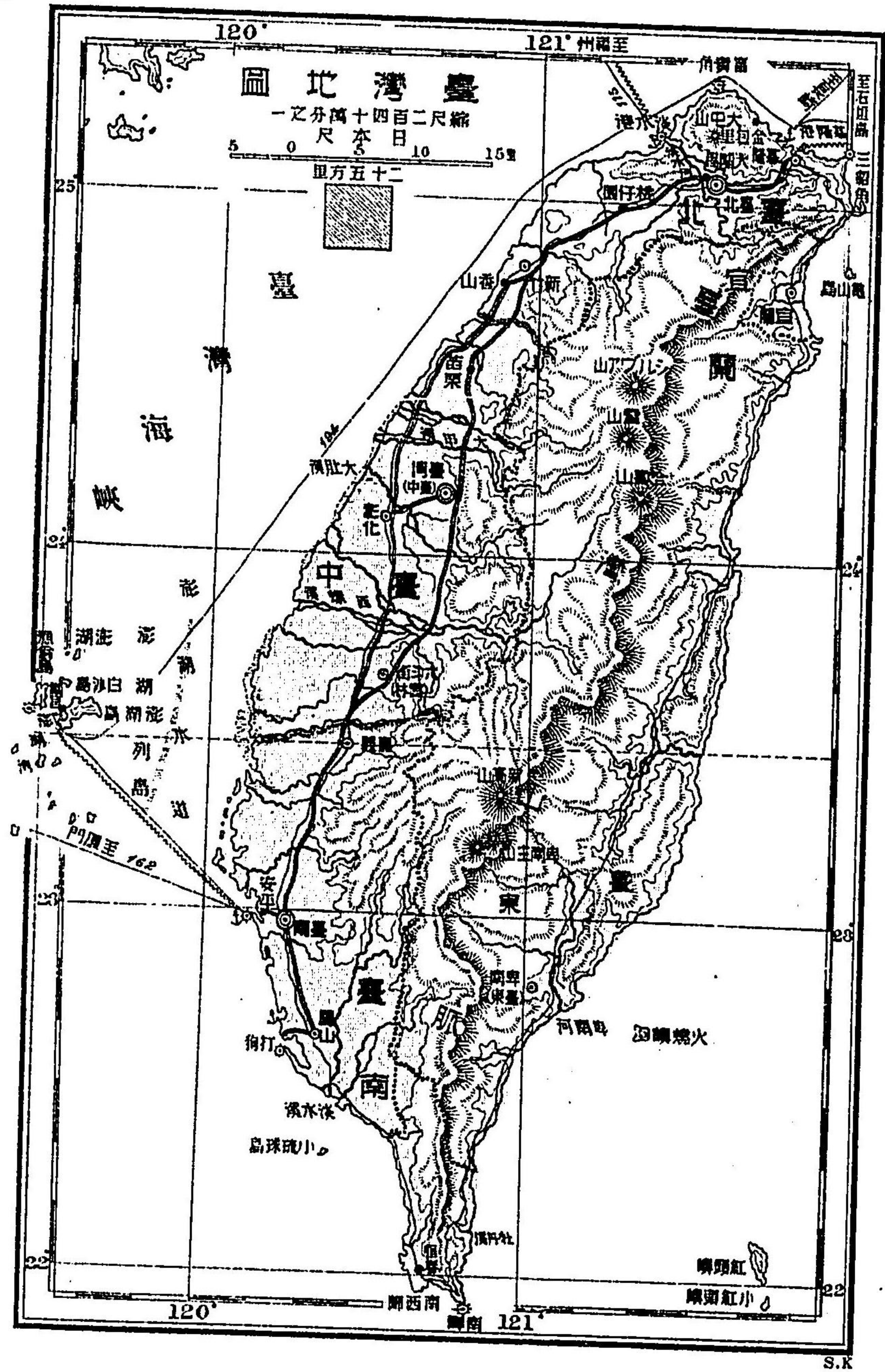
そん山ト云ヒシガ、三十年八月勅シテ名ヲ新高山ト賜ヒキ。此ノ山大凡北緯二十三度半ニアリ、是ヨリ南ハ熱帶ニ入ル。臺南ニ至レバ臺南縣廳アリ、南部ヲ管ス。昔蘭人ノ築キシ紅毛城アリ。臺南ノ西ニ安平港^{アンピ}アリ、亦蘭人ノ古城アリ、



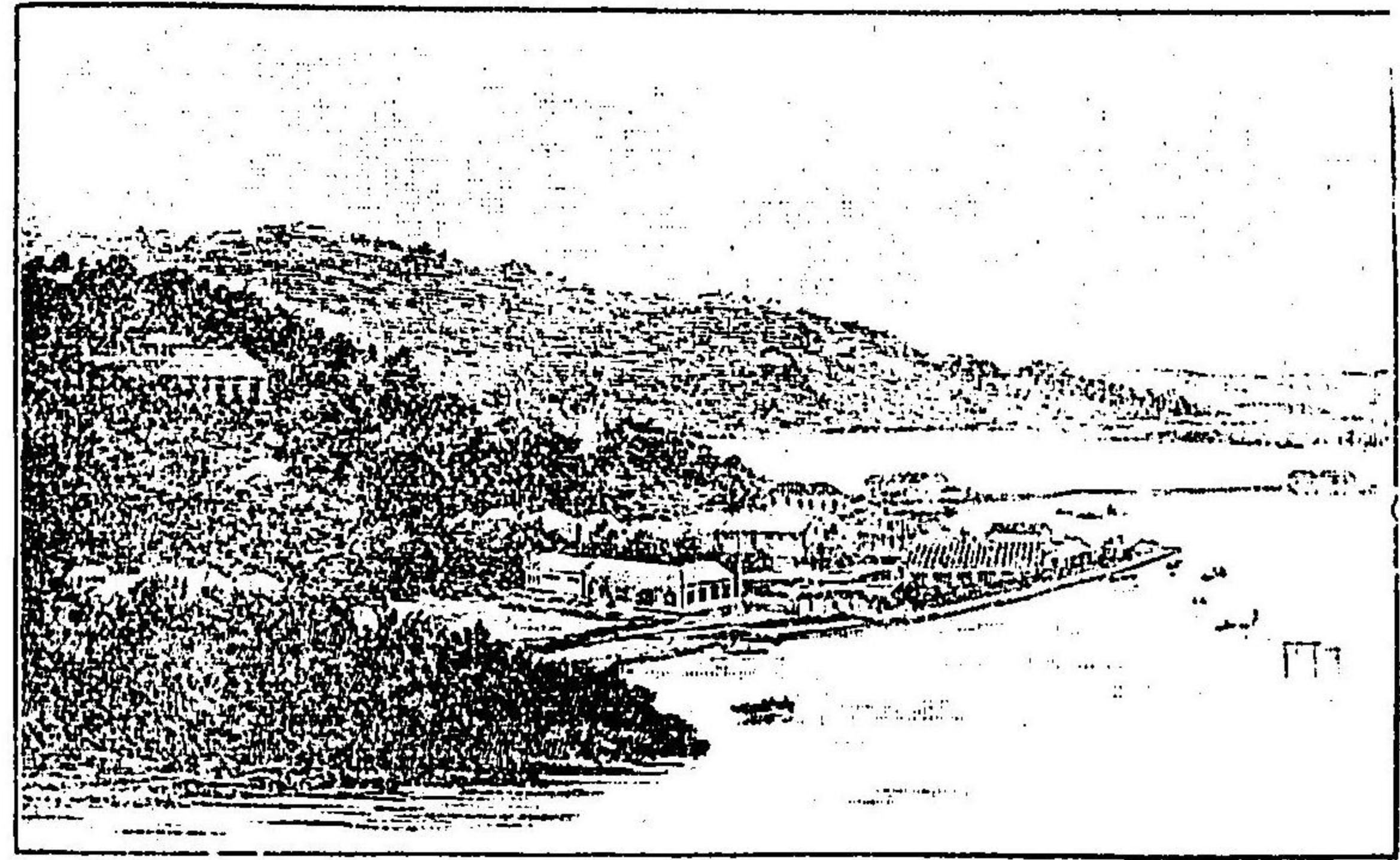
鳳山



濱田彌兵衛ノ事、其ノ他外國交
 涉事件ハ、大抵此ニ起レリ。
 臺南ヨリ鳳山ニ至レバ、製糖
 甚ダ盛ンナリ。總ベテ製糖ハ
 打南部ノ沿岸地方ニ多シ。鳳山
 ノ西ニ打狗港アリ、縦貫鐵道ノ
 南端ナリ。島ノ最南端ヲ南岬
 港ト云フ、即チ日本帝國ノ最南端
 ナリ。
 澎湖列島ハ臺灣ト支那トノ
 間ニアリ、澎湖ヲ主島トシ、漁
 翁島、白沙島ト共ニ巴ノ狀ヲ成



鳳山



濱田彌兵衛ノ事、其ノ他外國交涉事件ハ、大抵此ニ起レリ。
 臺南ヨリ鳳山ニ至レバ、製糖甚ダ盛ンナリ。總ベテ製糖ハ南部ノ沿岸地方ニ多シ。鳳山ノ西ニ打狗港アリ、縦貫鐵道ノ南端ナリ。島ノ最南端ヲ南岬ト云フ、即チ日本帝國ノ最南端ナリ。
 澎湖列島ハ臺灣ト支那トノ間ニアリ、澎湖ヲ主島トシ、漁翁島、白沙島ト共ニ巴ノ狀ヲ成

セリ。

臺灣諸島ハ吾ガ版圖ノ最南ニシテ、最モ熱キ國ナリ。其ノ冬ノ氣候ハ恰モ東京ノ春ノ如ク、夏ハ九州、琉球ヨリモ熱ク、時トシテハ百十度ニ至ルコトアリ、然レドモ夜ハ溫度大ニ下リテ涼氣人ヲ襲フ。雨ハ一般ニ多量ニシテ晴雨二季節アリ、大抵夏期ヲ雨節トス。大抵春夏秋冬ナクシテ唯唯唯唯雨季アルハ熱帶地方ノ常ナリ。風亦強クシテ沿海風浪多ク、二百十日前後ノ暴風ハ、大抵本島ノ近海ニ起ル。熱國ナレドモ毒蛇猛獸少ク、唯野獸ニ豹アリ、農川動物ニ水牛アルヲ本土ニ異ナリトス。然レドモ支那無賴ノ移民所謂土匪ナル者未ダ滅絶ニ至ラズ、其ノ良民ヲ害スルコト毒蛇猛獸ヨリ甚シク、内地ヨリハ守備隊ヲ發シ、近頃又土民ヲ募リ

セリ。

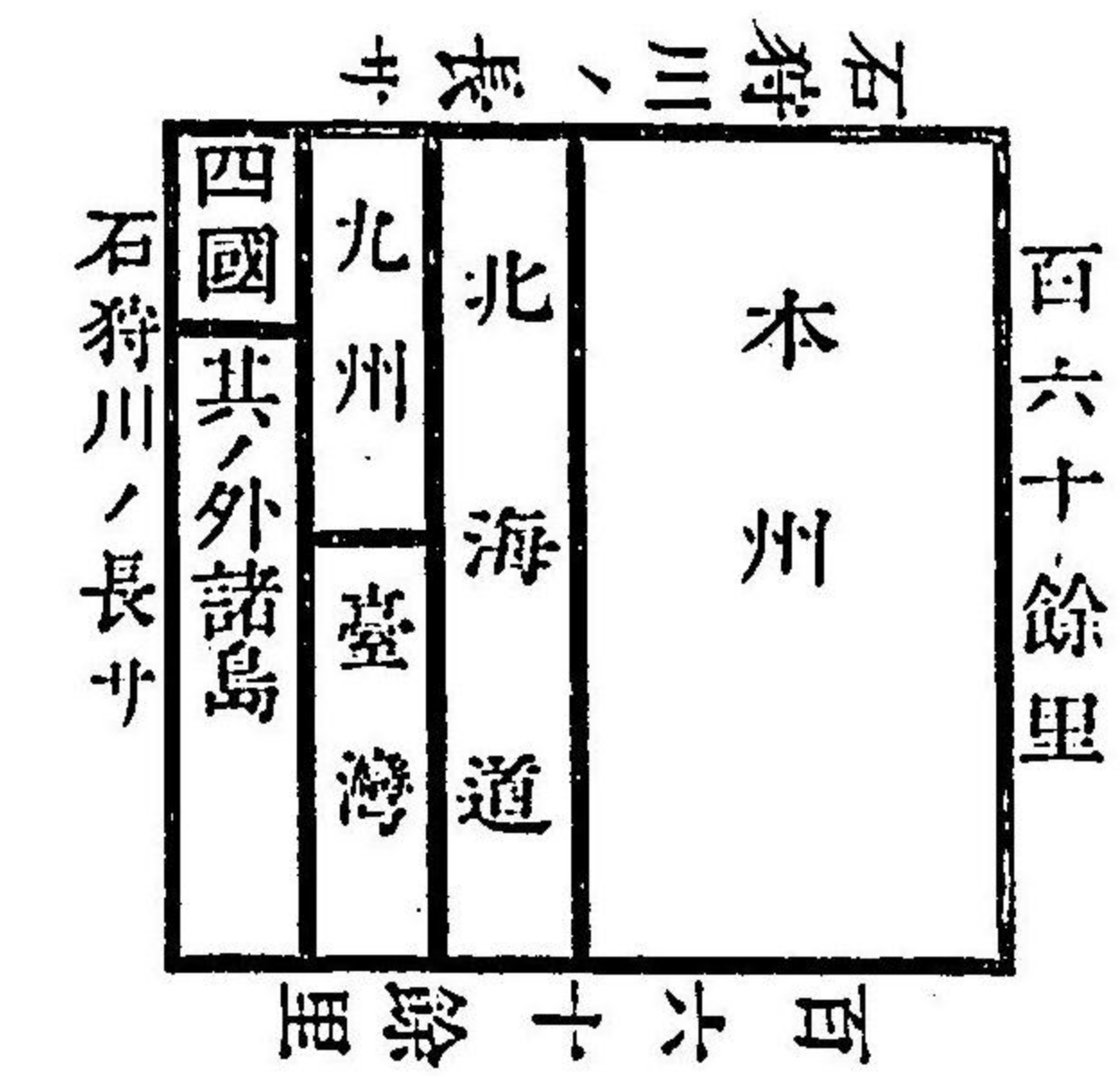
臺灣諸島ハ吾ガ版圖ノ最南ニシテ、最モ熱キ國ナリ。其ノ冬ノ氣候ハ恰モ東京ノ春ノ如ク、夏ハ九州、琉球ヨリモ熱ク、時トシテハ百十度ニ至ルコトアリ、然レドモ夜ハ溫度大ニ下リテ涼氣人ヲ襲フ。雨ハ一般ニ多量ニシテ晴雨二季節アリ、大抵夏期ヲ雨節トス。大抵春夏秋冬ナクシテ唯晴雨季アルハ熱帶地方ノ常ナリ。風亦強クシテ沿海風浪多ク、二百十日前後ノ暴風ハ、大抵本島ノ近海ニ起ル。熱國ナレドモ毒蛇猛獸少ク、唯野獸ニ豹アリ、農用動物ニ水牛アルヲ本土ニ異ナリトス。然レドモ支那無賴ノ移民所謂土匪ナル者未ダ滅絶ニ至ラズ、其ノ良民ヲ害スルコト毒蛇猛獸ヨリ甚シク、内地ヨリハ守備隊ヲ發シ、近頃又土民ヲ募リ

テ護郷大隊ヲ組織セリ。

第十六章 地勢交通ノ概要

廣表

地勢 上來叙述セシ我が帝國ハ五畿八道八十四箇國、琉球及ビ臺灣ニシテ、大小ノ島嶼總ベテ六百、兩端ノ直經一千三百六十餘里



百里、海岸線七千五百里、面積二萬七千方里、即チ百六十里四方許リ、人口四千萬ニシテ、世界中島嶼最モ多ク、海岸屈曲最モ多キ國ノ一ナリ。海岸ノ屈曲多ク、港灣多キハ、交通自在ニシテ文明ノ進歩ニ適スル地勢ナリ。本州ノ面積ハ大凡全國ノ半ニ

山勢

居リ、北海道ハ本州ノ三分之一、九州ハ北海道ノ半ニシテ、四國ハ又其ノ半ニシテ大凡圖ノ如シ。

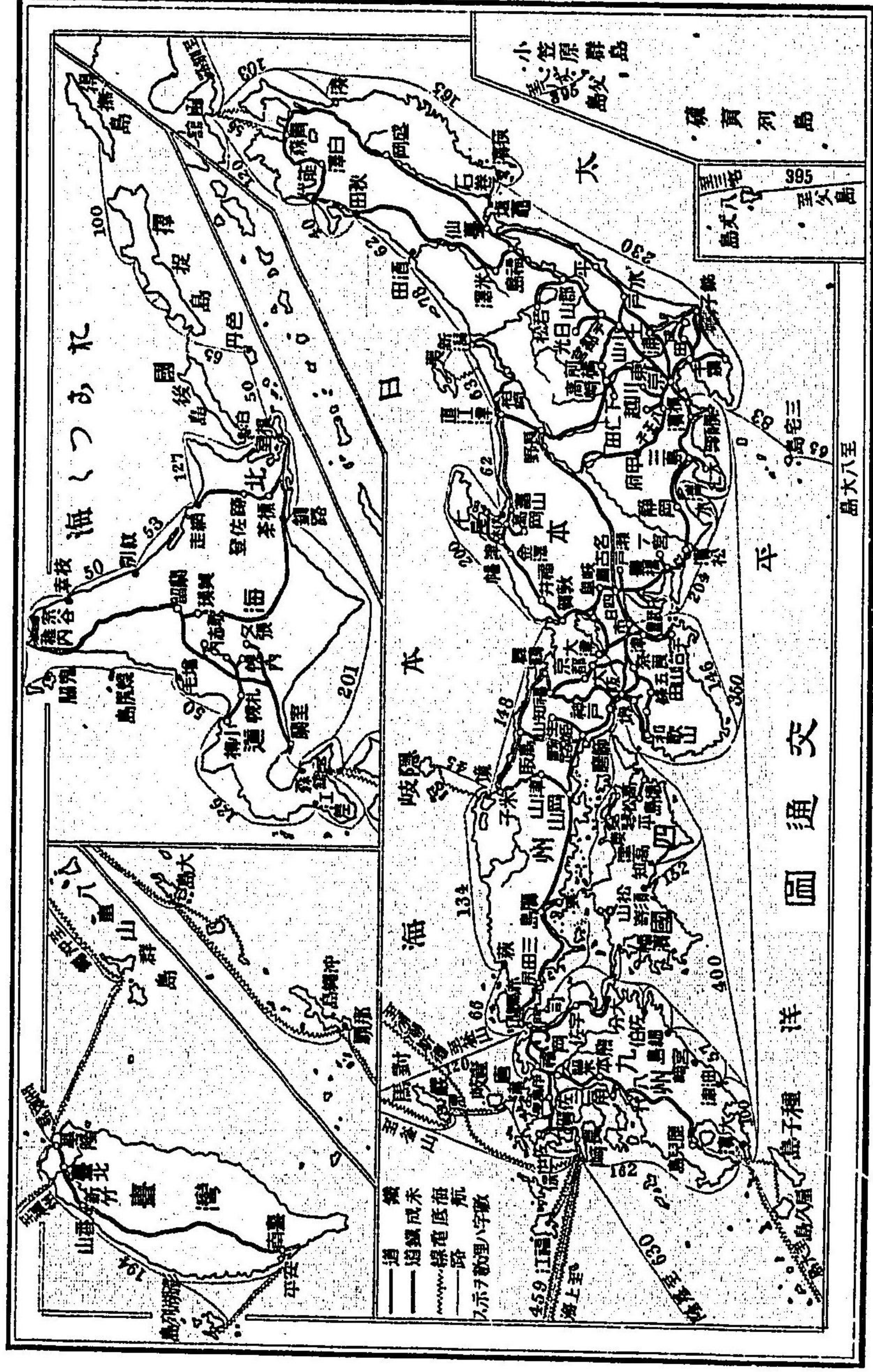
今地勢ノ大要ヲ概括セン。富士帶ハ本州ヲ横斷シテ南北ニ區分シ、其ノ他ハ天鹽岳山脈ノ外、大抵縦ノ方向ヲ取レリ。富士帶以北ニハ中央火山脈及ビ千島火山脈相繼ギテ脊梁ヲナシ、北上、阿武隈、鳥海、彌彦ノ諸山脈中央火山脈ニ並行ス。富士帶以南ニ在リテハ、信濃、飛驒ハ諸山脈ノ集マル所ニシテ、其ノ最モ長キ者ハ、第一、中國山脈アリ、本州ヲ貫通シ、海ヲ渡リテ九州ノ北部山脈トナル、第二、赤石山脈ハ紀伊山脈トナリ、四國山脈トナリ、九州ノ南部山脈トナル。阿蘇、白山、隱岐等ノ山脈大凡之ニ並行ス。霧島火山脈ハ最モ南ニアリテ、薩南諸島ヲ經テ臺灣ニ至ル。是山脈ノ大勢ニシ

野河流平
野都邑

テ、其ノ著明ナル諸山ノ高低比較大凡圖ノ如シ。

是等ノ諸山脈ノ間ニ各溪谷ヲ成シ、溪谷ノ廣キハ即チ平野ニシテ、大平野ニハ長流大河流通シテ運漕灌溉ノ用ヲナシ、流域ニ都府アリテ交通ノ中心トナル。此ノ都府ハ港口ニアリテ海路輸出入ノ口トナルコトアリ、或ハ別ニ港口ヲ要スルコトアリ。例ヘバ畿内平野ニハ淀川流レテ、京都、大阪ノ二府アリ、港口ニハ大阪、神戸アリ。次ニ濃尾平野ニハ木曾川流レテ、都府ニハ名古屋アリ、港口ニハ四日市アリ。關東平野ニ至リテハ利根川、荒川等流通シテ、東京アリ、横濱アリ。其ノ他大小ノ市邑皆沿海或ハ河域ニ在ルチ常トス。交通 交通ハ湖海ノ沿岸、河川ノ流域、或ハ溪谷、高原等ノ平地ニ起ル者ニシテ各島ノ鐵道ハ皆海岸地方チ一周セリ。

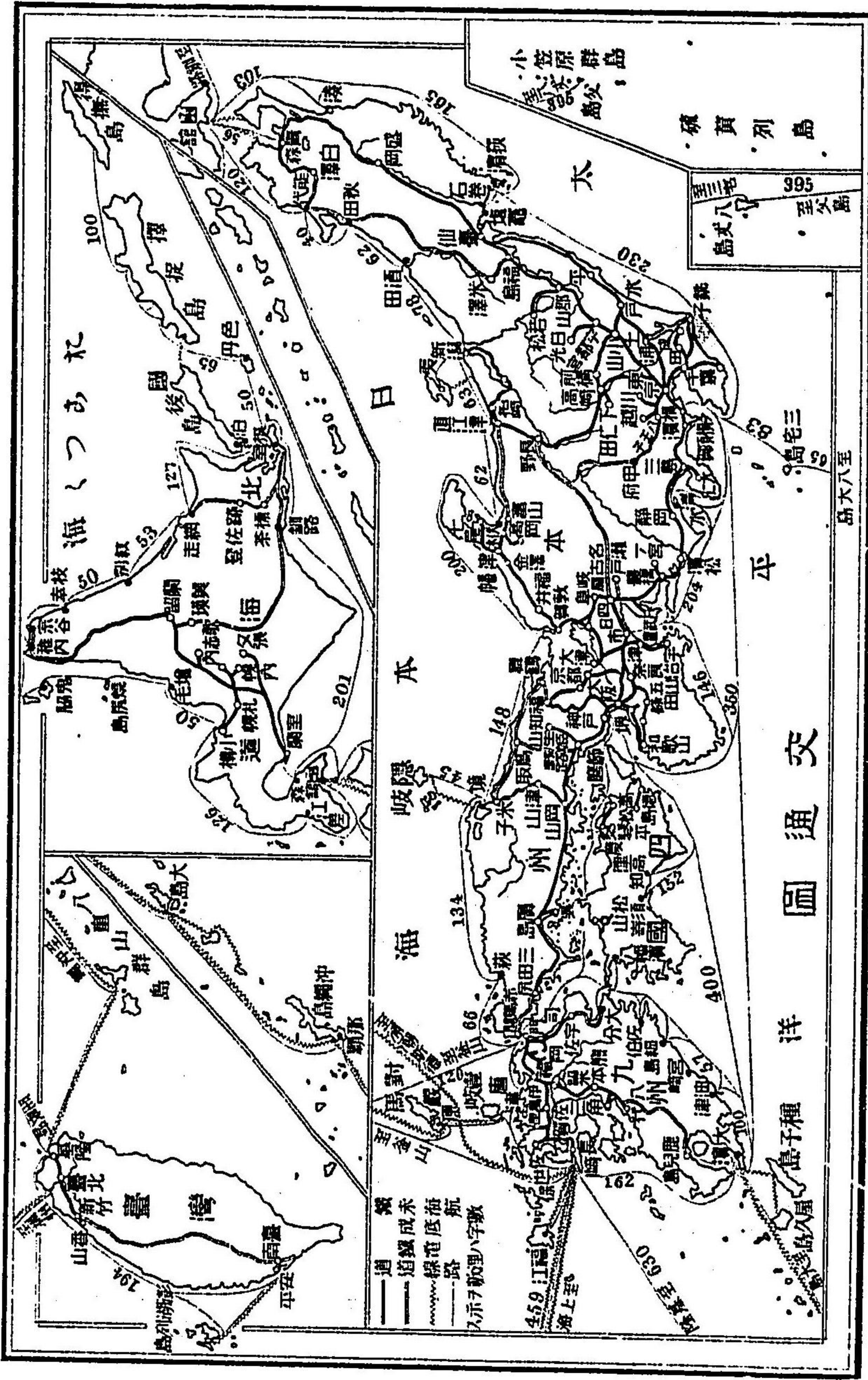
街道



鐵道

本州ニアリテハ、畿内ノ街道ハ河域及ビ海岸ニアリ、山陽、山陰、東海、北陸ノ街道ハ何レモ海岸ヲ通り、東山道ハ琵琶湖沿岸、木曾川、利根川、阿武隈川、北上川ノ諸流域、陸奥海岸、御物川、最上川ノ流域ヲ通過セリ。東京ハ全國ノ中心ニシテ亦東國ノ中心タリ、大阪ハ西國ノ中心タリ、故ニ交通ノ路ハ此ノ兩地ヲ中心トシテ四方ニ向ヘリ。

鐵道ハ已ニ是等街道ノ最モ急要ナル者ニ敷設セラレタリ。本州ニ於テハ馬關ヨリ三府ヲ通過シテ青森ニ至ル縦貫線殆ト全通セリ。日本海岸ハ北陸道ノ大部分既ニ通ゼリ。太平洋ト日本海トノ間ハ、最モ幅ノ廣キ處ニ於テ東京ト直江津ト連絡シ、最モ狹キ處ニ於テ敦賀ト四日市ト聯絡セリ、阪鶴鐵道、播但鐵道、岡山米子間等亦漸ク全通スベシ。



鐵道

本州ニアリテハ、畿内ノ街道ハ河域及ビ海岸ニアリ、山陽、山陰、東海、北陸ノ街道ハ何レモ海岸ヲ通り、東山道ハ琵琶湖沿岸、木曾川、利根川、阿武隈川、北上川ノ諸流域、陸奥海岸、御物川、最上川ノ流域ヲ通過セリ。東京ハ全國ノ中心ニシテ亦東國ノ中心タリ、大阪ハ西國ノ中心タリ、故ニ交通ノ路ハ此ノ兩地ヲ中心トシテ四方ニ向ヘリ。

鐵道ハ已ニ是等街道ノ最モ急要ナル者ニ敷設セラレタリ。本州ニ於テハ馬關ヨリ三府ヲ通過シテ青森ニ至ル縦貫線殆ト全通セリ。日本海岸ハ北陸道ノ大部分既ニ通ゼリ。太平洋ト日本海トノ間ハ、最モ幅ノ廣キ處ニ於テ東京ト直江津ト連絡シ、最モ狹キ處ニ於テ敦賀ト四日市ト聯絡セリ、阪鶴鐵道、播但鐵道、岡山米子間等亦漸ク全通スベシ。

電信

以上ヲ主要ナル線路トス。其ノ他九州ト臺灣トハ縱貫線
早晚ニ通ズベク、北海道本島ト四國トノ局部モ漸漸擴張ス
ベシ。三十二年五月既成線總計恰モ三千哩ニ達セリ。

電信ハ鐵道線路ノ及ブ所ハ勿論、遍ク全國緊要ノ市邑ニ
架設セラレ、郵便ハ更ニ僻地ノ村里ニマデ及ベリ。大凡郵
便電信局一千所、郵便局取扱所ト共ニ三千所、電信線路五千
里、線條ノ延長ハ其ノ三倍餘ナリ。電話ハ京、濱、阪、神等ノ市
内ノ外、長距離ノ者ハ東京、大阪及ビ神戸間ニ架設セラレタ
リ。海底電信線ハ國內諸島ノ連絡ノ外、長崎ヨリ上海、釜山
浦及ビ浦潮斯德ニ通シ、臺灣ヨリ支那ノ福州ニ通ゼリ。

次ニ海路ノ交通ヲ説カン。海運業者ノ重ナル者ハ日本
郵船株式會社及ビ大阪商船株式會社等ニシテ前者ハ汽船

六十餘艘ヲ所有シ、後者ハ同五十餘艘ヲ所有セリ。其ノ他東洋汽船株式會社アリ。

郵船株式會社ノ航路ノ重ナル者ハ、マヅ横濱ヨリ四日市及ビ神戸ニ航スル者、即チ關東平野ト濃尾平野ト畿内平野トヲ連絡スル者ナリ。次ニ本州ヲ一周スル者ニシテ、「西廻リ」ハ横濱ヨリ神戸、馬關ヲ經テ、日本海ノ諸要港ニ寄り、函館小樽ニ至ル者、「東廻リ」ハ神戸ヨリ横濱、荻濱、函館、小樽ニ航スル者ナリ。此ノ外小笠原島線、臺灣線等アリ。

同社ノ外國航路ハ西方航路ト東方航路トアリ。西方航路ハ横濱ヨリ神戸ヲ經、瀬戸内海、玄界灘ヲ過ギテ長崎ニ達シ、其ヨリ浦潮斯德、釜山、仁川、天津、上海、或ハ歐洲、又ハ濠洲等ニ至ル諸線路アリ。東方航路ハ横濱ヨリ布哇ヲ經、或ハ經

ズシテ米國ニ至ル。

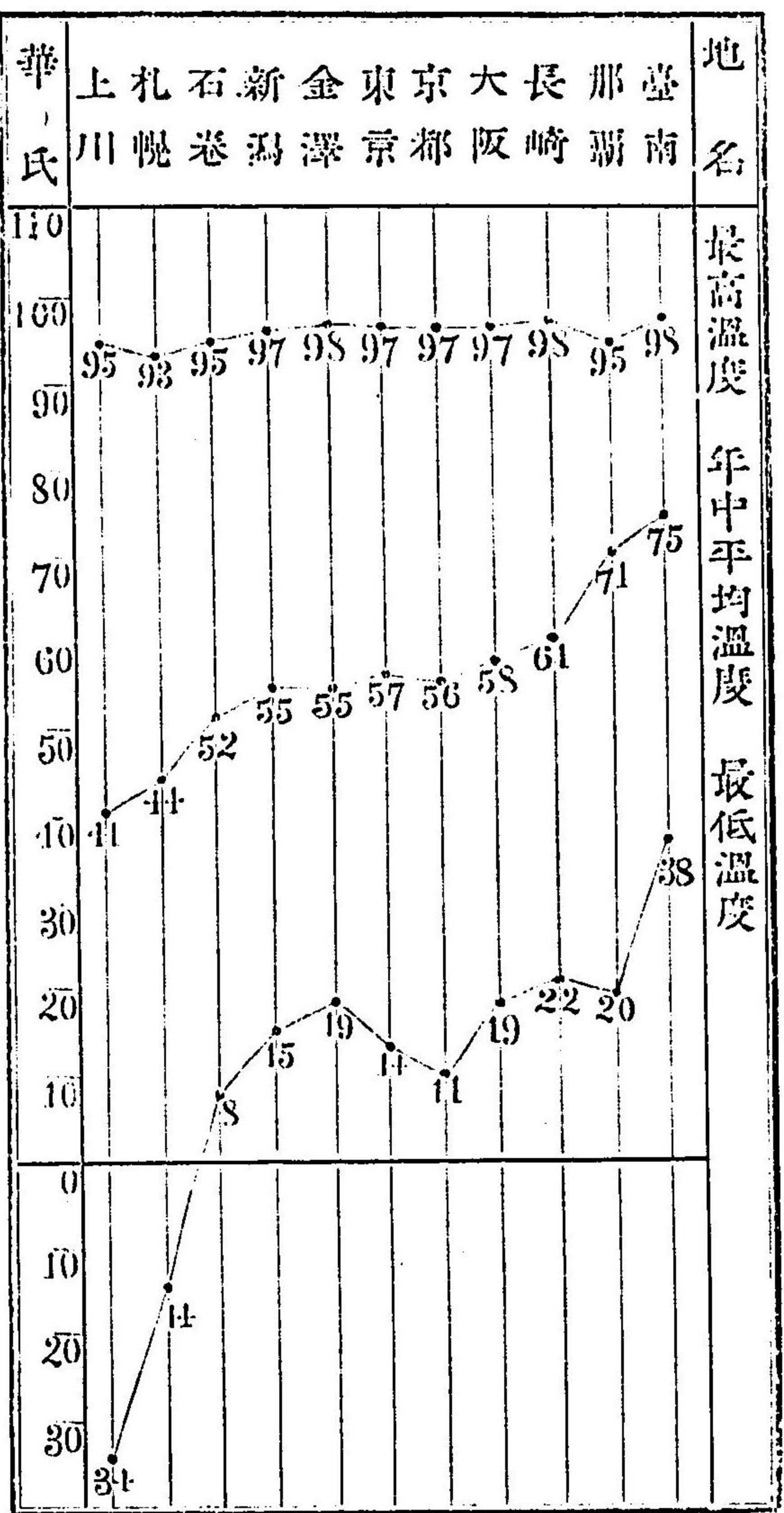
大阪ハ陸路ノ交通ノミナラズ、海路ニ於テモ亦關西ノ中心タリ。サレバ商船株式會社モ亦大阪ヲ中心トシテ山陰、山陽、南海、西海、四道ノ諸港ニ往來シ、又清、韓ノ航路ヲモ開ケリ。此ノ外新潟、函館ヨリ樺太及ビ浦潮斯德ニ至ル新航路アリ。

第十七章 氣候產物等ノ概要

溫度

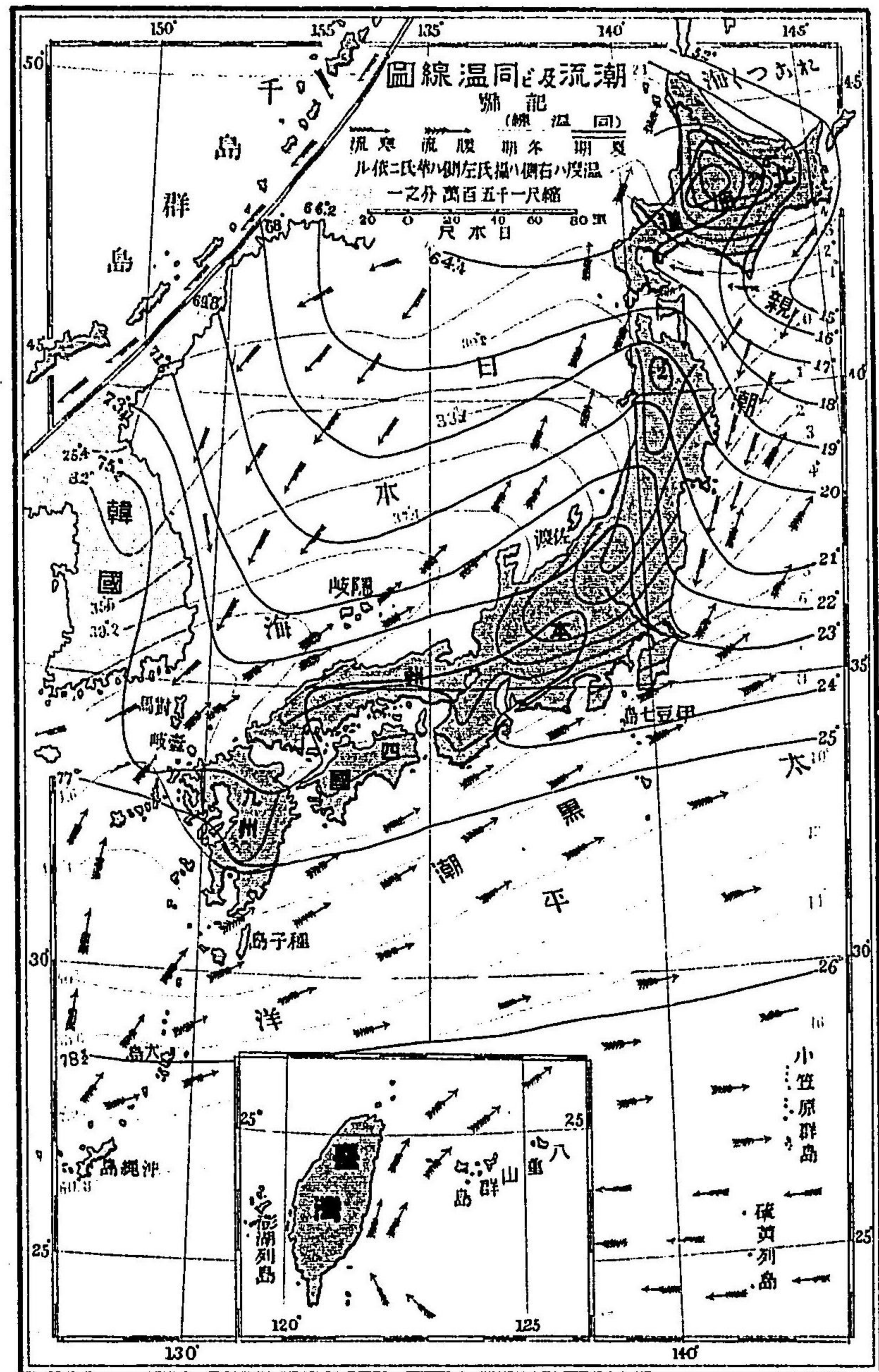
氣候 本邦ハ細長キ國ニシテ南北ノ差甚ダ大ナレド、幸ニ島國ナルト潮流ノ故トヲ以テ、寒暖ノ差緯度ノ割合ニ大ナラズ。全國年中ノ平均ハ五十四度半ニシテ、東京、京都ノ平均ヨリ稍低ク、金澤、新潟ノ平均ニ大凡同シ。今同溫線地圖

ノ外、猶著明ナル地點ノ溫度ヲ示スベシ。其ノ最高最低ハ測候所設立以來ノ極點ニシテ、通常ハ上川ノ一月二月ノ溫度ハ十三四度ノ間ニアリ。



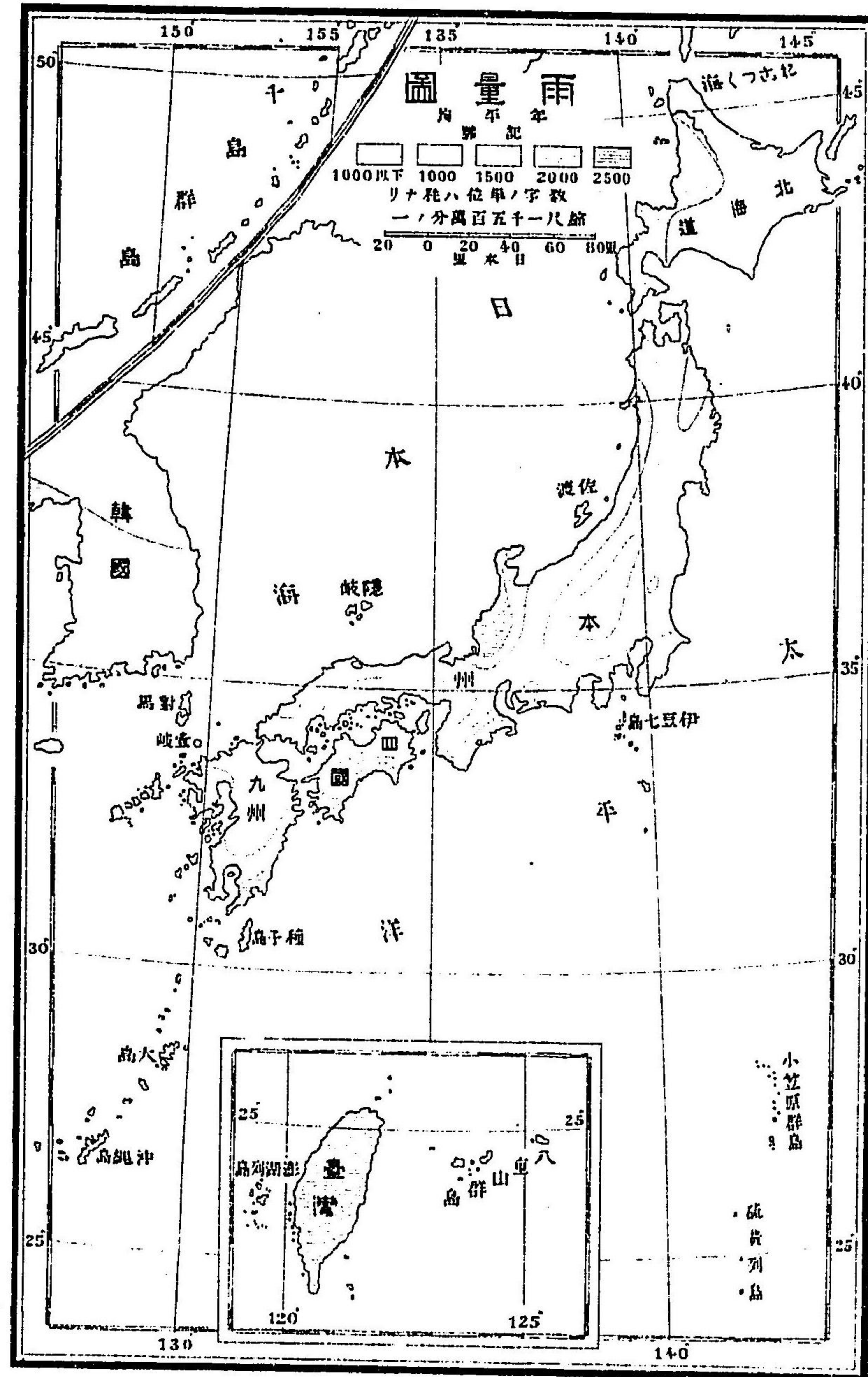
風雨

然レドモ又本邦ハ細長クシテ、西北ニ大陸ヲ控ヘ、東南ニ大洋ヲ受クルヲ以テ、其ノ風雨ハ大陸大洋ノ關係ニ感ズルコト甚ダ大ナリ。即チ夏期大陸甚ダシク熱シ空氣稀薄トナル時ハ、大洋ノ東南風之ヲ補充ス、此ノ時本邦ハ多ク東南風ヲ受ケ、其ノ水蒸氣ハ沿岸山脈ノ爲メニ冷却セララルル故ニ、太平洋沿岸諸國ニ雨多クシテ、日本海岸諸國ニ少シ。之ニ反シテ冬季ハ大陸ノ寒氣甚ダシク、大洋ハ依然トシテ暖カナルガ故ニ、西北風大陸ヨリ送ラル、此ノ時日本海岸ニ雨雪多クシテ、太平洋岸ニ晴天多シ。此ノ二方面ノ雨ヲ避ケテ雨雪ノ少キハ、二方面ノ山脈間即チ瀬戸内海地方、信州地方等ナルコト已ニ云ヘリ。臺灣ニ晴雨二季節アルモ全ク同理ニシテ、即チ西南風ノ季節ハ、中央山脈以西ノ雨節ナリ、



氣象區

東北風ノ季節ハ之ニ反ス。
 毎年三月及ニ九月即チ舊曆ノ「二月」チ「あれづき」ト云ヒ、
 殊ニ二百十日前後ニ暴風アルハ、此ノ寒風暖風交換ノ時ニ
 シテ空氣ノ濃淡即チ氣壓常チ失スレバナリ。暴風ノ中心
 ハ大抵臺灣沖ヨリ西南諸道ヲ經、本州ヲ中斷シ、日本海ヨリ
 北海道ヲ通過シテ東ニ走ル。又梅雨トテ六月頃大凡三十
 日間ノ霖雨アルハ、遙カニ西南印度洋ニ於テ吹ク所ノ定時
 風ノ餘波ニシテ、此ノ風ハ極メテ濕氣ヲ含ムガ故ナリ。
 風雨寒暑ハ山岳ノ向背、海洋ノ位地等ニ因リテ異ナルヲ
 以テ、氣象區ヲ七區ニ分チ、東京中央氣象臺ハ毎日各區ノ測
 候所ヨリ電報スル風位、氣壓、溫度等ニ據リ、各區ノ天氣ヲ豫
 報シ、又暴風等ヲ警戒ス。第一區ハ南海岸ニシテ最モ多ク



植物分
布

黒潮ノ影響ヲ受ケ、雨量最モ多キ地方ナリ、即チ琉球ヨリ九州四國ノ南岸ヲ經テ紀伊ノ鼻ニ至ル。第二區ハ瀬戸内海地方ニシテ、最モ少雨ノ地方ナリ。第三區ハ西北海岸ニシテ、九州ノ西北諸國及ビ山陰道ナリ。第四區ハ東南岸ニシテ、紀伊ノ鼻ヨリ銚子ノ鼻ニ至ル各地及ビ其ノ内地ナリ。第五區ハ大陸風ヲ正面ニ受クル地ニシテ、北陸、兩羽及ビ其ノ内地ナリ。第六區ハ親潮地方ニシテ、銚子以北ノ海岸及ビ其ノ内地ナリ。第七區ハ極北地方ニシテ、北海道及ビ陸奥海岸ナリ。而シテ臺灣ハ別區トス。

動植物ノ分布 本邦ニハ寒國アリ、暖國アリ、熱國アリ、隨テ動植物亦同シカラズ。先ヅ植物ヲ例スレバ、已ニ各國ノ條ニ明カナル如ク、茶、煙草、藍、柑、橘類、竹、蘇鐵、甘蔗、樟、鳳梨等ハ暖

植物帶

國乃至熱國ノ植物ニシテ寒國ニ適セズ。竹ノ如キハ薩隅地方ニ於テ周圍三尺ニ及ブ者アレドモ、北海道ニ於テハ殆ト全ク之ヲ生ゼズ、間、葦ノ如キ小ナル者ヲ見ルノミ。又柑橘類ハ東海岸ニ於テ伊豆、駿河ノ産ハ食フベキモ、東京ニ至レバ已ニ食フニ堪ヘズ。一般ニ熱國暖國ハ植物ノ成育宜シト雖モ、特ニ寒地ニ適スル者亦アリ、例ヘバ露ハ千島ニ於テ野生ノ者林ヲ成シ、秋田ニ於テハ培養ノ功ヲ以テ椀大ノ莖ヲ成セドモ、新潟以南ニ於テハ纔ニ拇ノ大キサニ過ギズ。林檎ハ北海道ニ於テ最モ美ニシテ、本州ニ至レバ漸ク劣ルヲ覺ユ。今植物ノ分布ヲ簡畧ニ示ストキハ左ノ如シ。(一)小笠原島及ビ琉球以南ヲ熱帶植物帶トシ、蘇鐵、樟、椰子、鳳梨等繁茂シ、甘蔗、綿、煙草、稻、藍等盛ニ發育ス。(二)九州、四國及

ビ本州南半ヲ半熱帶植物帶トシ、常綠木多ク、檜、黒松、榎、樟、竹等繁茂シ、甘蔗、烟草、藍、稻、麥、綿、茶、柑橘類栽培セララル。(三)本州北半乃至北海道中部ヲ溫帶植物帶トシ、落葉木多ク、赤松、檜、樺、栗等繁茂シ、前帶ニ等シキ作物猶移植セラレドモ、甘蔗、茶、烟草、綿ノ如キハ陸奥ニ至リテ殆ト跡ヲ絶テリ。(四)北海道東北及ビ千島ヲ冷帶植物帶トシ、樺、五葉松等ノ區域ニシテ森林漸ク少ク、稻ハ生育セズ。又南部ト雖モ、高地ハ寒冷ナルヲ以テ寒地ノ植物ヲ生ズ、例ヘバ、富士山ニテハ麓ニハ半熱帶植物アルモ、中腹ヨリ溫帶、冷帶ノ植物ヲ生ジ、頂上ニ於テハ更ニ草木ヲ生ゼザルニ至ル。又古クヨリ開ケタル地方ニ於テハ固有ノ森林伐リ盡サレ、他帶ノ植物人工ニ由リテ繁殖スルコト多シ。

動物ニ至リテハ殊ニ判然タル區域ナシト雖モ、大凡暖國産ノ著シキ者ハ、四國猿ニシテ、寒國産ハ千島ノ臘虎、臘肭獸、海豹等ナリ。魚類ニハ鱈、鱒、鰯等暖流ニ生活シテ、鮭、鱈、鯡ノ如キハ寒流ニ生活ス。熊、狼ハ本州北部ノ山岳ニ棲息シ、北海道ニハ熊多シ。大凡猛獸、毒蛇ハ熱國ニ多キ者ナレド、本邦ニアリテハ琉球ノ飯七、臺灣ノ豹ニ過ギズ。此クノ如ク、寒暑ハ文明ノ發達ヲ害スルニ至ラズ、毒蛇、猛獸ハ人類ノ生活ヲ危クスルニ至ラズシテ、而モ寒暖各地ノ産物種種ナルハ、實ニ世界屈指ノ樂土ト謂フベシ。

産物 本邦産業ノ最モ主要ナル者ヲ農業トシ、米ノ産地ハ筑紫平野、濃尾平野、關東、越後等ノ諸平野ヲ主要ナル者トス、一國ノ産額最モ大ナルヲ越後トシ、一反ノ收穫最モ大キキ

大阪府下トシ、質ノ最モ良キヲ肥後トス。麥ノ産額最モ多キハ關東平野ニシテ、次ハ濃尾平野ナリ。全國ノ産額ヲ舉グレバ、米ハ大凡四千萬石ニシテ、全國一人一石ニ當リ、麥ハ大凡其ノ半ナリ。大豆モ亦關東平野ニ最モ多ク産ス。茶ノ多額ハ駿遠即チ静岡縣ヲ第一トシ、山城ヲ第二トス、然レドモ玉露製ハ山城ヲ最モ多額トス。其ノ他河内ノ綿、下野ノ麻、阿波ノ藍、皆産額ノ第一ナリ。林業ノ著シキ者ハ東ニ信濃アリ、西ニ紀伊アリ、其ノ他諸國ノ山岳鬱蒼トシテ、山林ノ面積大凡全國ノ半ニ至ル。本邦ハ山岳多クシテ、山林トスルノ外、用フベカラザル地多キニモ拘ラズ、木材ニ供スベキ山林割合ニ少ク、土木工事ノ木材ハ外國ヨリ輸入スル者多シ。加之維新以來ハ林制大ニ

弛ミテ、山林ヲ濫伐シ、之ガ爲メ諸國ノ水害年年絶エザルニ至リ、今正ニ善後策經營中ナリ。

牧畜

牧畜ハ近來軍馬、食牛、乳牛、製革等ノ需用ニツレテ、需用ノ進歩ニ應ズル能ハザルノ勢アリ。現在ノ頭數ハ、馬ハ薩摩ヲ第一トシ、陸中之ニ次ギ、牛ハ山陽道諸國ニ最も多シ。

水産

水産ノ多額ナルハ、北海道ノ鮭、昆布、房總ノ鰯ナリ。鱈節ノ産額ハ土佐節ヲ最多トシ、銚子節、薩摩節之ニ次グ。

蠶業

蠶業ハ東山道ニ最も盛ンニシテ、就中繭、生絲ノ産額共ニ信濃ヲ第一トス。

鑛産

鑛産ハ佐渡、薩摩ノ黄金、羽後ノ銀、下野、伊豫ノ銅、皆全國第一及ビ第二ナリ。鐵ハ釜石及ビ中國ニ産スト雖モ、方今勃興セル兵器鐵路等ノ需用ノ什一ヲモ望ムコト能ハズ、筑前

工業品

ノ製鐵所完成ノ日ハ、蓋シ一步ヲ進ムルコトアルベシ。

美術品

工業品ハ精粗ニヨリテ價格ノ差異甚ダシキヲ以テ、數量ト價額トハ必ズシモ比例セズ。今價額ヲ以テ順序スルトキハ、絹布ハ京都ヲ第一トシ、上野、下野之ニ次グ(數量順ハ上野、下野、京都トス)。綿布ハ尾張、三河即チ愛知縣下(鳴海絞等)ヲ第一トシ、紀伊(綿ねる等)、武藏(二子縞等)、大阪府下(河内木綿等)之ニ次グ。陶磁器ハ尾張、美濃、肥前、山城、加賀、漆器ハ紀伊、能登、紙ハ土佐、伊豫、美濃、駿河、酒類ハ攝津、尾張等各、此ノ順序ニ隨フ。繪畫、彫刻、蒔繪等ノ美術品ハ兩京ニ最も多ク、七寶ハ最も名古屋ニ多シ。

商業地

是等ノ物品集散ノ中心即チ商業地タルベキ所ハ、無論交通ノ最も便利ナル地ニシテ、前章ニ記セル海陸諸線路ノ著

名ナル市邑是ナリ。又其ノ各地ノ總中心タルベキ地アリ、大阪ハ關西ノ中心、函館ハ北海全道ノ中心、東京ハ全國ノ中心タルガ如キハ其ノ最モ大ナル者ナリ。

輸出品

輸出入 本邦產物ノ海外ニ輸出スル者ノ中、價額ノ最モ多キ者ハ生絲、綿絲、羽二重、茶ニシテ、茶ハ多ク米國ニ輸出シ、生絲羽二重ハ多ク米佛ニ、綿絲ハ多ク支那ニ輸出セラレ。是等ヲ最モ多額ナル者トシ、陶磁器、漆器、美術品等ハ價額稍少キモ、名聲海外ニ嘖嘖タル者ナリ。總シテ輸出ノ最モ多キハ米國ナリ。

輸入品

輸入品ノ最モ多額ナルハ第一繰綿ニシテ、重ニ支那、印度ヨリ來ル。次ハ白砂糖ニシテ、英領香港ヨリ來リ、次ハ鐵類ニシテ、英國ヨリ來ル者多シ。總シテ輸入ノ最モ多キハ英

國ニシテ、米國ノ輸入品ハ年々増加シツツアリ。其ノ他世人ノ耳目ニ觸ルルコト多キ外國品ハ、佛蘭西皮靴、英ねる、獨逸ねる、伊太利ねる、米國粉、麥粉、米國、露國ノ石油、瑞西時計、支那緞子、支那縮緬等ナリ。毎年ノ輸出入ハ近頃各二億萬圓内外ニ上リ、多少輸出ノ超過アリ。

第十八章 政治ノ概要

政體 政體ハ立憲君主政體ニシテ、天皇ハ立法ノ大權ヲ總攬シ給ヒ、人民ハ憲法ノ定ムル所ニヨリテ參政ノ權ヲ得。

立法部ハ帝國議會ニシテ、貴族院ト衆議院トノ議員ヲ召集シ、法律、豫算等ヲ審議セシムル所ナリ。貴族院ハ皇族、華

立法

行政

族、勅選議員、多額納稅議員ヨリ成リ、衆議院ハ國民ノ選舉スル所ノ議員ヨリ成ル。議會或ハ政府ヨリ出デタル原案ニシテ議會ニ可決セラレ、政府ニ同意セラレタル者ハ、天皇ノ裁可ヲ經テ初メテ公布執行セララル。

行政ニハ行政ト司法トアリ。行政部ハ各地ノ便宜ヲ計リ、全國ヲ三府四十三縣、北海道及ビ臺灣ニ分テ、地方廳ヲ設ケ、地方官ヲ配置シテ、衛生、勸業、教育、警察、土木、租稅等各般ノ政ヲ行ハシム。之ヲ監督スル中央政府ハ、内外務、陸海軍、大藏、司法、文部、農商務、逓信ノ諸省アリ、各省ノ大臣聯合シテ内閣ヲ成シ、天皇ヲ輔弼シテ行政ノ責ニ任ズ。

司法部ハ全國三百ノ區裁判所アリ、府縣道廳ノ所在地及ビ函館、根室ニ地方裁判所アリテ之ヲ分轄シ、東京、大阪、名古屋

司法

種族

教法

屋、廣島、長崎、宮城、函館ノ七控訴院又之ヲ分轄シ、中央ニ一ノ大審院アリテ之ヲ總轄セリ。小事ハ區裁判所ヲ初審トシ、大事ハ地方裁判所ヲ初審トシ、裁判ニ服セザル者ハ各、上級ノ法庭ニ控訴上告スルヲ得。

種族 人種ノ血統ハ姑ク措キ、本邦ニ於テ現ニ言語風俗ヲ異ニスル者五アリ、(一)本土人即チ所謂「やまご民族」、(二)あいぬ、(三)琉球人、(四)臺灣生蕃、(五)同支那移民是ナリ。風ヲ移シ、俗ヲ易フルハ國ノ統一ニ於テ最モ緊要ノ事ナリト雖モ、聖上慈仁ニシテ新附ノ民ノ不便ヲ憐ミ給ヒ、特ニ臺灣總督ニ勅シテ改革ヲ急劇ニセザランコトヲ戒メ給ヘリ。

教法 本邦元神儒佛ノ三教アリ、神道ハ國家ノ恩人、自家ノ祖先ヲ神トシ祭リテ其ノ德ヲ紹述シ、儒道ハ修身ノ道ヲ明

カニシテ天下國家ニ及シ、佛道ハ惡ヲ遷シテ善トナシ、慾ヲ轉シテ慈悲トナシ、自ラ佛ト成ランコトヲ務ムル教ナリ。佛敎ハ最モ廣ク行ハレ、天台、眞言、淨土、禪、眞宗、日蓮宗等ヲ重ナル者トス。然レドモ國民トシテ皇祖天神ヲ拜セザル者ハナク、亦學校ニアリテ儒敎ノ一斑ヲ聽カザル者ナシ、則チ神儒佛ノ三敎一般ニ行ハルト云フモ亦不可ナルナシ。耶蘇敎ハ徳川時代ニハ國禁ナリシカド、今ハ憲法ニヨリテ奉敎ノ自由ヲ與ヘラレタリ。

教育

教育 全國到ル處ノ町村ニ小學校アリテ、國民タルニ必要ナル普通學ヲ授ク。各府縣ニ一個或ハ數個ノ中學校アリテ高等ナル普通學ヲ授ク。全國ニ七個ノ高等學校アリ。則チ兩京、仙臺、金澤、山口、熊本、岡山ニシテ、或ハ工科或ハ法科

或ハ醫科等ノ專門學ヲ教ヘ、或ハ大學ニ入ルノ豫備ヲナサシム。東京及ビ京都ニ帝國大學アリテ、法科、文科、理科、醫科、工科、農科等ノ深遠ナル理學ヲ攻究セシム。或ハ各府縣中、中學校同程度ナル農學校、商業學校、技藝學校等ノ設アル者亦少カラズ。又高等女學校アリテ、女子ニ高等ナル普通學ヲ授クル所アリ。

普通學ノ教員ヲ養成センガ爲メ、各府縣ニ一個或ハ數個ノ師範學校アリテ、小學校教員ヲ養成シ、東京ニ高等師範學校及ビ女子高等師範學校アリテ、師範學校中學校、高等女學校ノ教員ヲ養成ス。

陸軍

軍備 軍備ヲ嚴ニシテ列國ノ野心ヲ防ギ、國ノ平和ヲ保ツハ國民ノ義務ナリ。本邦陸軍ノ兵制ハ全國ノ壯丁體格ノ

検査ニ合格シタル者、抽籤ヲ以テ兵役ニ服スルコト三年、之ヲ現役ト云フ。現役畢リテ後、四年四箇月間ヲ豫備役ト云ヒ、豫備ノ後五年間ヲ後備役ト云ヒ、戦役又ハ事變アルトキニハ、豫備後備逐次ニ召集セラル。其ノ他滿十七年ヨリ四十年マデヲ國民軍ト云ヒ、國家危急ノ時ニ召集セラル。全國ノ軍ヲ近衛師團及ビ各地十二師團ニ分テ、司令部ヲ東京ニ置キテ各其ノ管區ヲ指揮ス。而シテ近衛師團及ビ東京以北ノ四師團ハ東部都督部ニ屬シ、廣島ヨリ西南ノ四師團ハ西部都督ニ屬シ、其ノ間ノ四師團ハ中部都督ニ屬セリ。

海軍ノ壯丁ハ募ニ應シテ海軍ニ服役ス。其ノ現役四年、豫備役三年、後備役五年ナリ。全國ノ海岸海面ヲ五區ニ分テ、横須賀、吳、佐世保、舞鶴、室蘭ノ五軍港アリテ之ヲ管ス。軍

海軍

港ニハ鎮守府アリテ海兵團ヲ訓練シ、又所屬ノ艦隊アリテ管内ヲ警戒ス。但シ舞鶴、室蘭ニハ未ダ鎮守府ナキヲ以テ、其ノ管内ハ横須賀、吳ノ鎮守府之ヲ分管セリ。

以上陸軍現役ノ軍人凡ソ十四萬人、豫備後備等ヲ合ハセテ總計三十二萬人、海軍現役一萬九千人、豫備後備ヲ合ハセテ二萬三千人ナリ。

外交

外交 本邦ト通商條約ヲ締結セル國國ハ朝鮮、支那、暹羅、以上亞細亞洲、佛國、英國、白耳義、和蘭、獨逸、丁抹、露國、瑞典、希臘、奧地利、伊太利、瑞西、西班牙、葡萄牙以上歐羅巴洲、米國、墨西哥、巴西、亞然丁、智利、秘魯ノ二十三國ナリ。

財政

財政 此クノ如キ國家ノ費用ヲ國民ヨリ徵集スル之ヲ租稅ト云フ。租稅ニハ國稅、府縣稅、市町村稅アリ、國稅ハ全國

ニ關スル費用ニシテ帝國議會ノ協賛ヲ要シ、府縣市町村稅
ハ府縣市町村會ノ決議ヲ要ス。吾ガ國國稅ノ重ナル者ハ
地租、所得稅、酒稅等ナリ。國庫ノ歲入歲出ハ日清戰役前ハ
一億圓以内ナリシニ、戰後財政膨脹シテ二億三四千萬圓ニ
至レリ。

政府ガ事業ヲ興ス等ノ爲メニ一時ニ金ヲ要スル時ハ國
債ヲ起ス。國債ニ内國債アリ、外國債アリ。近時吾ガ國ハ
内國債大凡四億萬圓ノミナリシガ、三十二年ニ至リ、外國債
一千萬磅(大凡一億圓)ヲ募集セリ。

第十九章 沿革ノ概要

上古我ガ國ニハ土蜘蛛ナド云ヘル野蠻住ミ、又蝦夷トテ

神武天
皇以前

神武天
皇一統

四道將
軍日本武
尊

三韓

今ノあいぬ人種モ本州ニ蔓延シ、互ニ酋長アリテ相爭ヒシ
ガ、九州ノ南部ハ早クヨリ吾ガ帝室ノ統治ノ下ニアリキ。
神武天皇ニ至リ、日向ノ高千穗宮ヨリ出立テ、中州ヲ平定シ、
位ニ樞原宮ニ即キ、帝國ノ基ヲ開キ給ヒキ。

紀元五百年代崇神天皇ハ四道將軍ヲ發遣シ給ヒ、七百年
代景行天皇ハ皇子日本武尊ヲ遣ハシテ、西ハ熊襲ヲ征シ、東
ハ蝦夷ヲ討タシメ給ヒ、皇威漸ク遠キニ及ビ、やまこノ名、遂
ニ全國ノ稱トナレリ。次ノ帝成務天皇ハ初メテ山河ヲ界
トシテ國界ヲ正シ、地方官ヲ任シ給ヒキ。

八百年代神功皇后新羅ヲ征シ給ヒテ、三韓即チ韓國ハ吾
ガ屬國トナリシニ、一千三百年代齊明天皇ノ朝ニ新羅反シ
テ支那兵ヲ導キ、吾ガ國全ク三韓ヲ失ヒヌ。

臺灣版
圖ニ入ル

區分
千八百年代桓武天皇ノ朝ニ全國ヲ畿内、七道、六十六箇國ニ定メラレ、爾來久シク之ニ因リシガ、明治二年奧羽二國ヲ分テテ、磐城、岩代、陸前、陸中、陸奥、羽前、羽後ノ七箇國トナシ、又蝦夷島ヲ改メテ北海道トナシ、之ヲ十一箇國ニ分テテ、畿内、八道、八十五箇國トセラレタリ。十二年琉球ヲ我ニ專屬セシメテ、沖繩縣ヲ置ク。二十七八年日清戰役ノ結果トシテ、支那ハ遼東半島及ビ臺灣、澎湖ヲ我ニ割讓セリ。然ルニ露獨、佛三國同盟シテ我ニ忠告スル所アリシヲ以テ、我が政府胥議シテ遼東半島ヲ還附セリ。斯クシテ東ハ千島ヨリ西ハ臺灣ニ至ルマデ一千三百里ノ山河永ク萬世一系ノ天皇ヲ戴ケリ。

正修
內國
地誌
終

附錄

周圍及ビ面積

屬島數ニ(一、五)アルハ一島ニシテ本州ト四國トニ屬スルモノアルニヨレリ

土州	地屬島數	周圍面積	土	地屬島數	周圍面積
本州	一、五〇五	二、四七五、四六	壹岐	一〇	三、七三五
四國	七五五	六、五八二	對馬	五〇	二〇、〇三三
九州	一、五〇〇	一、八四八、八六	琉球	—	三五、〇六六
北海道本地	二、三〇〇	六、八五五	小笠原島	—	七、一五六
千島	—	六、三三三	臺灣	—	七、一五六
佐渡	—	五、三〇〇	澎湖	—	七、一五六
隱岐	—	五、五七〇	總計	—	七、四七、一七〇
淡路	—	四、〇八八			二、七〇、六四六

諸道面積人口表

附錄

分界面	積人口	分界面	積人口	分界面	積人口
畿内	四四九、五九	山陽道	一七〇、三三	淡路	三六、九
東海道	三九八、八〇	南海道	一五、一六	壹岐	八、六三
東山道	三〇二、六六	西海道	二六、七四	對馬	四、七二
舊奥羽	四四、七三	北海道	六〇、五三	琉球	一、五九
北陸道	一五、七九	佐渡	五、三三	小笠原島	四、五〇
山陰道	一〇、七六	隱岐	二、八九	總計	二、四七、四三六
	一八、三三		三、五〇		四、七〇、八八四

東京ヨリ道府縣廳ニ至ル里程	地方元標	通	路	里
京都	京都三條大橋	東海道通リ	三	三四
大阪	大阪高麗橋	京都ヲ經テ	一四	一九
神奈川	横濱本町	神奈川ヲ經テ	八	九〇
兵庫	神戸元町通	京都及ビ山崎ヲ經テ	一五〇	六
長崎	長崎外浦町	京都及ビ小倉ヲ經テ	三	三四
新潟	新潟本町	長野及ビ高田ヲ經テ	一〇九	
埼玉	浦和町	清水越通リ		九〇
		中山道通リ		六

千葉	千葉市川ヲ經テ	二〇	岩手	盛岡紺屋町	陸羽街道通リ仙臺ヲ經テ	一四〇
茨城	水戸市上浦ヲ經テ	二九	青森	青森米町	陸羽街道通リ仙臺ヲ經テ	一九
群馬	前橋連雀町熊谷伊勢崎ヲ經テ	二六	山形	山形七丁目	米澤通リ	九五
栃木	宇都宮池上町陸羽街道通リ	三	秋田	秋田大町	同	二五
奈良	奈良三條通リ	一四〇	福井	福井照手上町	名古屋及ビ柳ヶ瀬ヲ經テ	二二七
三重	津分都町	四日市ヲ經テ	石川	金澤尼張町	名古屋及ビ高田ヲ經テ	二二五
愛知	名古屋鐵砲町	熱田ヲ經テ	富山	富山西町	名古屋及ビ高田ヲ經テ	一七六
静岡	静岡吳服町	東海道通リ	鳥取	鳥取西町	姫路及ビ若櫻ヲ經テ	一九四
山梨	甲府錦町	甲州街道通リ	島根	松江堅町	姫路及ビ津山ヲ經テ	三三
滋賀	大津上京町	東海道通リ	岡山	岡山橋本町	京都及ビ神戸ヲ經テ	一八六
岐阜	岐阜白木町	名古屋ヲ經テ	廣島	廣島細工町	同	三三
長野	長野大門町	上田ヲ經テ				
宮城	仙臺大町	陸羽街道福島ヲ經テ				
福島	福島上町	陸羽街道通リ				

附録

山口	山口市	京都及比廣島ヲ經テ	三六	大分	大分市	京都及比小倉ヲ經テ	三七
和歌山	和歌山京橋	大阪ヲ經テ	二六	佐賀	佐賀市	小倉及比山家ヲ經テ	三四
德島	德島西横町	明石ヲ經テ淡路通リ	一七	熊本	熊本市	小倉及比久留米ヲ經テ	三六
香川	高松常盤橋	下津井及比丸龜ヲ經テ	二七	宮崎	宮崎市	小倉及比大分ヲ經テ	三六
愛媛	松山札ノ辻	同	三七	鹿兒島	鹿兒島山下町	小倉及比熊本ヲ經テ	三八
高知	高知本町	同	三三	沖繩	那覇	鹿兒島及比大島川瀬ヲ經テ	五七
福岡	福岡橋口町	小倉及比蘆屋ヲ經テ	三〇	北海道	札幌	陸羽街道青森及比函館ヲ經テ	二七
						苫小牧ヲ經テ	

重要産物一年産出額

第十八統計年鑑ニ據ル但米麥ハ三十一年ノ總額ニシテ例年ヨリ收穫殊ニ多カリシナリ其ノ他ハ三十年ノ統計ニヨレルモノ多シト知ルベシ

米	四七六、七六石	繭	二〇一、七四石	銀	一、四六、四九五匁	木綿反物	六〇八、一〇〇反
麥	二〇四、二〇五石	生絲類	二、三、四八五匁	銅	三九、三二七斤	陶器	五、六、三〇七匁
大豆	三、〇〇九石	茶	八四、三七六匁	鐵	七四、四三四匁	漆器	四、一、〇七匁
實綿	七、〇四五匁	蠶節	二、三八〇匁	石炭	五、八、八五噸	銅器	一、三、〇六匁
大麻	三、五、九二匁	鹽	六、七、八〇匁	綿絲	三、五、四六匁	紙	二、五、〇八匁

重要輸出産物額

左ニ掲クルハ金額五百萬圓以上ニ升レル物ノミヲ撰ビタルモノナリ

葉	藍	一、四、一、五九匁	金	二、七、四、七匁	絹反物	一、二、四、八、五〇反	酒	四、五、一、〇〇石
米	五、九、〇、二八匁	生絲類	四、七、〇、三四匁	石炭	一、五、六、八、七八匁	摺附木	六、七、三、九四匁	
茶	八、二、五、五匁	絹布類	一、六、〇、四一匁	熟銅	七、〇、六、九一匁			
重要輸入産物額								
左ニ掲クルハ金額五百萬圓以上ニ升レル物ノミヲ撰ビタルモノナリ								
豆類	七、〇、一、〇三匁	綿絲類	八、九、〇、六六匁	毛絲及ビ毛織類	一、〇、六、四、〇九匁	烟草類	六、三、八、二二匁	
砂糖類	二、六、一、九三匁	綿布類	一、〇、九、七、八五匁	鐵物類	二、〇、三、四、四四匁	石油	七、五、二、八八匁	

輸出入比較

出	入	年次	明治二十八年	明治二十九年	明治三十年	明治三十一年
輸出	輸入		一、五、八、六三匁	一、三、二、三六匁	一、七、八、七五匁	一、八、〇、六七匁
			一、三、六、七、四四匁	一、八、七、二、八七匁	二、七、一、七、〇五匁	三、四、二、三、九四匁

附録

種別	學校及生徒數	
	校數	生徒數
小學校	二六八〇	二七,〇八六
中學校	一五九	五,三三三
高等學校	六	四三六
帝國大學	二	二,五五
陸海軍大學	二	二九
師範學校	四	八〇〇
高等師範學校	二	四六
專門及ビ技藝學校	二七	三,九〇五
高等女學校	二六	一
各種學校	一一〇	四,九三三
總計	二,八四七	一四,三三三
		男
		女
		合計
		四一七,六七七

海軍管區	陸軍管區	
	師團	聯隊
西部都督部	近衛團	東京本郷聯隊
中部都督部	第一師團	東京本郷聯隊
東部都督部	第二師團	東京本郷聯隊
	第三師團	東京本郷聯隊
	第四師團	東京本郷聯隊
	第五師團	東京本郷聯隊
	第六師團	東京本郷聯隊
	第七師團	東京本郷聯隊
	第八師團	東京本郷聯隊
	第九師團	東京本郷聯隊
	第十師團	東京本郷聯隊
	第十一師團	東京本郷聯隊
	第十二師團	東京本郷聯隊
	第十三師團	東京本郷聯隊
	第十四師團	東京本郷聯隊
	第十五師團	東京本郷聯隊
	第十六師團	東京本郷聯隊
	第十七師團	東京本郷聯隊
	第十八師團	東京本郷聯隊
	第十九師團	東京本郷聯隊
	第二十師團	東京本郷聯隊
	第二十一師團	東京本郷聯隊
	第二十二師團	東京本郷聯隊
	第二十三師團	東京本郷聯隊
	第二十四師團	東京本郷聯隊
	第二十五師團	東京本郷聯隊
	第二十六師團	東京本郷聯隊
	第二十七師團	東京本郷聯隊
	第二十八師團	東京本郷聯隊
	第二十九師團	東京本郷聯隊
	第三十師團	東京本郷聯隊
	第三十一師團	東京本郷聯隊
	第三十二師團	東京本郷聯隊
	第三十三師團	東京本郷聯隊
	第三十四師團	東京本郷聯隊
	第三十五師團	東京本郷聯隊
	第三十六師團	東京本郷聯隊
	第三十七師團	東京本郷聯隊
	第三十八師團	東京本郷聯隊
	第三十九師團	東京本郷聯隊
	第四十師團	東京本郷聯隊
	第四十一師團	東京本郷聯隊
	第四十二師團	東京本郷聯隊
	第四十三師團	東京本郷聯隊
	第四十四師團	東京本郷聯隊
	第四十五師團	東京本郷聯隊
	第四十六師團	東京本郷聯隊
	第四十七師團	東京本郷聯隊
	第四十八師團	東京本郷聯隊
	第四十九師團	東京本郷聯隊
	第五十師團	東京本郷聯隊
	第五十一師團	東京本郷聯隊
	第五十二師團	東京本郷聯隊
	第五十三師團	東京本郷聯隊
	第五十四師團	東京本郷聯隊
	第五十五師團	東京本郷聯隊
	第五十六師團	東京本郷聯隊
	第五十七師團	東京本郷聯隊
	第五十八師團	東京本郷聯隊
	第五十九師團	東京本郷聯隊
	第六十師團	東京本郷聯隊
	第六十一師團	東京本郷聯隊
	第六十二師團	東京本郷聯隊
	第六十三師團	東京本郷聯隊
	第六十四師團	東京本郷聯隊
	第六十五師團	東京本郷聯隊
	第六十六師團	東京本郷聯隊
	第六十七師團	東京本郷聯隊
	第六十八師團	東京本郷聯隊
	第六十九師團	東京本郷聯隊
	第七十師團	東京本郷聯隊
	第七十一師團	東京本郷聯隊
	第七十二師團	東京本郷聯隊
	第七十三師團	東京本郷聯隊
	第七十四師團	東京本郷聯隊
	第七十五師團	東京本郷聯隊
	第七十六師團	東京本郷聯隊
	第七十七師團	東京本郷聯隊
	第七十八師團	東京本郷聯隊
	第七十九師團	東京本郷聯隊
	第八十師團	東京本郷聯隊
	第八十一師團	東京本郷聯隊
	第八十二師團	東京本郷聯隊
	第八十三師團	東京本郷聯隊
	第八十四師團	東京本郷聯隊
	第八十五師團	東京本郷聯隊
	第八十六師團	東京本郷聯隊
	第八十七師團	東京本郷聯隊
	第八十八師團	東京本郷聯隊
	第八十九師團	東京本郷聯隊
	第九十師團	東京本郷聯隊
	第九十一師團	東京本郷聯隊
	第九十二師團	東京本郷聯隊
	第九十三師團	東京本郷聯隊
	第九十四師團	東京本郷聯隊
	第九十五師團	東京本郷聯隊
	第九十六師團	東京本郷聯隊
	第九十七師團	東京本郷聯隊
	第九十八師團	東京本郷聯隊
	第九十九師團	東京本郷聯隊
	第一百師團	東京本郷聯隊

區	畫	軍	港	所	管
第一	熊野沖ヨリ太平洋海岸海面	相模國三浦郡横須賀港	横須賀鎮守府		
第二	紀州灘ヨリ瀬戸内海、四國及ビ九州東部ノ海岸海面	安藝國安藝郡吳港	吳鎮守府		
第三	九州西部ヨリ沖繩諸島ニ至ル海岸海面	肥前東彼杵郡佐世保港	佐世保鎮守府		
第四	日本海ノ海岸海面	丹後國加佐郡舞鶴港	舞鶴鎮守府(未開廳)		
第五	北海長及ビ陸奥附近ノ海岸海面	膽振國室蘭郡室蘭港	室蘭鎮守府(未開廳)		

舞鶴及ビ室蘭鎮守府ヲ設置スルマデノ間第四海軍區中越後以東及ビ第五海軍區ヲ横須賀鎮守府ニ管セシメ第四海軍區中越中以西ヲ吳鎮守府ニ管セシム

陸海軍軍人員數

種別	將官及ビ相常官	上長官士	官候補生	准士官生	徒下士	卒	計
陸軍	一一	一〇七	六〇三	二五	四四九	二九二	二七三〇
海軍	五	五〇四	八二	一五	四五	二四	一八三四
計							三〇〇六

艦 本表中尙製造中ノモノヲモ收メタリ

別種	艦名	噸數	別種	艦名	噸數	別種	艦名	噸數
戰艦	富士	二、六〇九	巡洋艦	浪速	二、七〇九	海防艦	筑紫	二、七三
戰艦	八島	二、五二七	巡洋艦	高千穂	二、七〇九	海防艦	平遠	二、八五
戰艦	鎮遠	七、三三	巡洋艦	秋津洲	三、二七	海防艦	天城	三、三
戰艦	扶桑	七、三三	巡洋艦	千代田	二、四九	海防艦	愛宕	三、三
戰艦	敷島	一、五〇八	巡洋艦	和泉	二、九七	海防艦	摩耶	三、三
戰艦	朝日	一、四四三	巡洋艦	須磨	二、七〇	海防艦	鳥海	三、三
戰艦	初瀨	一、五〇三	巡洋艦	明石	二、六〇	海防艦	赤城	三、三
巡洋艦	嚴島	四、二六	海防艦	八雲	二、〇〇	海防艦	江戶	三、〇
巡洋艦	松島	四、二六	海防艦	吾妻	二、〇〇	海防艦	鎮西	四、二
巡洋艦	橋立	四、二六	海防艦	淺間	二、〇〇	海防艦	鎮東	四、二
巡洋艦	吉野	四、二六	海防艦	常磐	二、〇〇	海防艦	鎮西	四、二
巡洋艦	高砂	四、三	海防艦	出雲	二、〇〇	海防艦	鎮東	四、二
水雷艇	第一號ヨリ第廿八號ニ至ル		水雷艇	小鷹		水雷艇	豐橋	
水雷艇	第一號ヨリ第廿八號ニ至ル		水雷艇	福龍		水雷艇	千鳥	
水雷艇	第一號ヨリ第廿八號ニ至ル		水雷艇	隼		水雷艇	外	
水雷艇	第一號ヨリ第廿八號ニ至ル		水雷艇	白鷺		水雷艇	二十九艇	
水雷艇	第一號ヨリ第廿八號ニ至ル		水雷艇	真鶴		水雷艇	計六四艇	
水雷艇	第一號ヨリ第廿八號ニ至ル		水雷艇	千鳥		水雷艇	計一一艇	
水雷艇	第一號ヨリ第廿八號ニ至ル		水雷艇	外		水雷艇		
水雷艇	第一號ヨリ第廿八號ニ至ル		水雷艇	二十九艇		水雷艇		
水雷艇	第一號ヨリ第廿八號ニ至ル		水雷艇	計六四艇		水雷艇		
水雷艇	第一號ヨリ第廿八號ニ至ル		水雷艇	計一一艇		水雷艇		

本表中尙製造中ノモノヲモ收メタリ

附録

九

八

各國物產大要

畿內

〔山城〕 茶、白川石、杉、松、茸、鮎、鯉、鮒、西陣織、染物、陶器、銅器、鐵器、漆器、人形扇、團扇、紅、白粉
 〔天和〕 漆、銅、金剛砂、木材、葛、鮎、奈良、月潮、梅、醋、大和餅、三輪素麵、河內、綿、菜種、
 木綿、寒天、種油、道明寺、糖、和泉、貝類、鐵器、段通、蜜柑、攝津、綿、菜種、花崗石、煙草、牛、鯉、鮒、
 寒天、種油、酒、池田炭、有馬竹、細工、硝子、革、

東海道

〔伊賀〕 茶、伊賀燒、伊勢、米、茶、芋、麻、蝦、蛤、海草、真珠、萬古燒、津、緞子、染形紙、松坂縞、志摩、
 海草、真珠、尾張、米、麥、藍、綿、大根、海參、海鼠、腸、瀨戶燒、七寶燒、鳴海、絞扇、酒、醬油、〔三河〕 藍、
 綿、花崗石、木材、雲母、海參、海鼠、腸、木綿、遠江、茶、石油、椎茸、鯉、節、駿河、茶、馬、興津、鯛、鯉、節、
 漆器、竹、細工、紙、〔甲斐〕 繭、生絲、水品、葡萄、那內織、甲斐絹、伊豆、茶、石材、木材、鯉、節、雁皮紙、
 山葵、相模、明礬、鯉、其ノ他海魚、貝類、〔武藏〕 茶、繭、生絲、米、大豆、煙草、果物、海苔、秩父、
 絹、八王寺織、雙子縞、銅器、鐵器、漆器、硝子、紙、錦、槍、安房、絹、其ノ他海魚、海草、房州砂、〔上總〕

絹、其ノ他海魚、鯉、節、〔下總〕 馬、鹽、味淋、醬油、佐倉炭、鏡子、絹、結城、紬、結城、木綿、鯉、節、〔常陸〕
 烟草、蕎麥、綿、漆、大理石、海魚、

東山道

〔近江〕 米、茶、烟草、艾、鯉、鮒、縮緬、晒布、蚊帳、信樂燒、美濃、米、茶、錫、柿、饅、鮎、鮎、紙、團扇、油、團、陶
 器、〔飛騨〕 生絲、銀、鉛、木材、漆、紬、信濃、生絲、蕎麥、石油、材、木、漆、寒天、上田、縞、漆器、〔上野〕 生
 絲、鐵、蠟、石、石灰、安質、蒙、丹、礬、麻、桐、生織物、伊勢、崎、銘、仙、〔下野〕 鋼、漆、麻、足利、絹、真岡、木綿、日
 光、塗、磐城、生絲、馬、岩代、金、銀、鉛、芋、麻、木材、漆、會津、塗、陶器、鐵器、銅器、陸前、生絲、米、埋
 木、鮒、海參、鮎、仙、登、平、雄、勝、石、陸、中、米、生絲、金、銀、銅、鐵、漆、牛、馬、鯛、鮎、南部、縮緬、南部、釜、南部
 表、陸奥、米、硫黃、漆、鮎、等海魚、津、輕、塗、晒、蠟、羽前、生絲、紅花、薄荷、米、澤、糸、織、大山、酒、〔羽後〕
 米、生絲、銅、銀、鉛、硫黃、石油、木材、蔴、淳代、塗、秋田、畝、織、八丈、縞、

北陸道

〔若狹〕 鋼、鐵、漆器、越前、綠礬、麻、蚊帳、雲丹、和布、羽二重、奉書、紬、紙、加賀、米、芋、麻、銅、漆、茶、
 鯉、鮒、九谷、燒、絹、銅器、能登、漆、茶、鮎、鮎、輪、島、塗、素、麵、越中、米、漆、茶、賣、藥、銅器、鐵器、越後、

米、石油、漆、茶、馬鈴薯、麻、銅、石炭、鹽、鮭、鱈、縮上布、紬、五泉平(佐渡) 金、銀、烏賊、牛

北海道

(渡島) 硫黃、鯀、混布、海參、鯀、鮑等海產以下同シ(後志) 石炭、海產、石狩) 石炭、鮭、海產
麥酒、砂糖、天鹽 昆布其ノ他海產北見) 黃金、海產(膽振) 硫黃、海產(日高) 海產(十勝)
海產(釧路) 硫黃、根室 海產●以上諸國ニ木材、熊、鹿等多シ(千島) 硫黃、海豹、臘虎

臘、鹿

山陽道

(播磨) 石材、鹽、明石、鯛、姬路、草醬、油、美作) 茶、雲、齋、織、備前) 烟草、蠟石、綠、紫、牛、鱈、鹽、表、伊
部、燒、長、船、刀、備中) 銅、鐵、綠、紫、牛、鹽、表、紙、備後) 鐵、麻、鹽、鹽、表、保、命、酒、安、藝) 鐵、麻、綿、牛、杜
蠟、木、綿、廣、島、藥、鐘、周、防) 鹽、岩、國、縮、蠟、長、門) 蠟石、硯石、鐵、石、炭、鯨、島、賊、鮑、鮑、蠟

山陰道

(丹波) 烟草、栗、松茸、牛、紬、丹後) 牛、海魚、縮、種、但、馬) 牛、金、銀、柳、行、李、出、石、燒、因、幡) 硯石、
白、珊、瑚、蠟、木、綿、伯、耆) 鐵、水、晶、苧、麻、白、珊、瑚、蠟、木、綿、出、雲) 人、參、牛、鐵、苧、麻、十、六、島、海、苔、鱧

蠟、木、綿、石、見) 銀、鐵、銅、硫、黃、苧、麻、半、紙、隱、岐) 板、材、鮑、海、參、鮭、●諸國ニ蜂蜜ヲ産ス、

南海道

(紀伊) 蜜柑、木材、熊野、備長、鯨、紋、羽、織、ねる、漆、器、水、豆、腐、酢、淡、路) 石、材、陶、器、夏、蜜、柑、阿、波
鹽、烟、草、甘、蔗、鹽、鳴、門、鯛、阿、波、縮、讚、岐) 甘、蔗、鹽、海、魚、保、多、綺、伊、豫) 銅、蒼、鉛、安、質、蒙、甘、蔗
甘、蔗、鹽、海、魚、紙、土、佐) 木、材、甘、蔗、鯉、節、真、珠、珊、瑚、紙、樟、腦

西海道

(筑前) 石炭、馬鈴薯、蠟、種、油、樟、腦、博、多、織、筑、後) 石炭、馬鈴薯、蠟、種、油、鹽、表、久留米、緋、鹽、前
石炭、鯛、鯀、和、布、小倉、織、豐、後) 雜、穀、綠、紫、金、銀、錫、樟、腦、鹽、表、肥、前) 石炭、甘、蔗、烟、草、鯨、鮑
海參、錫、雲、丹、鯀、鋪、子、錫、蠟、種、油、樟、腦、陶、器、硝、子、肥、後) 米、甘、蔗、粟、馬、鹽、表、砂、糖、日、向) 金、銀、
錫、樟、腦、炭、椎、茸、大、隅) 金、甘、蔗、烟、草、馬、鹽、表、砂、糖、薩、摩) 金、銀、錫、甘、蔗、烟、草、馬、鯉、節、砂、糖、陶
器、燒、耐、登、岐) 鯨、鮑、海、參、錫、雲、丹、對、馬) 鯨、鮑、海、參、錫、雲、丹、琉、球) 馬、鯨、玳、瑁、砂、糖、紐、泡、盛
酒、漆、器、臺、灣) 砂、糖、石、炭、樟、腦、茶、釜

大尾

明治三十一年三月十日印
同 年三月十三日發行
明治三十三年八月卅一日修正再版印刷
同 年九月四日發行

著作者

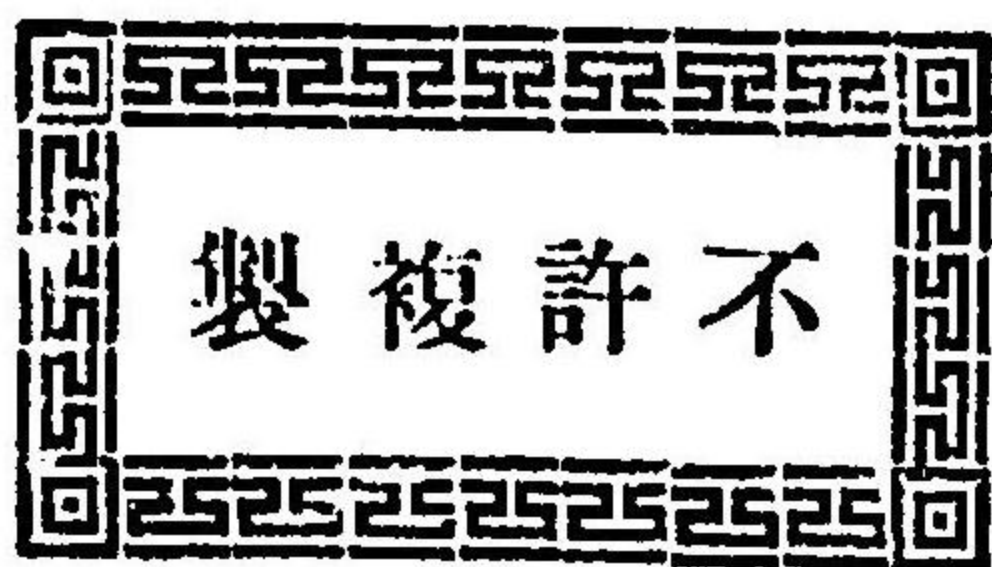
新保磐次

發行兼印刷者

金港堂書籍株式會社
東京市日本橋區本町三丁目十七番地

代表者

右社長
原亮一郎
東京市下谷區龍泉寺町四百十四番地



印刷所

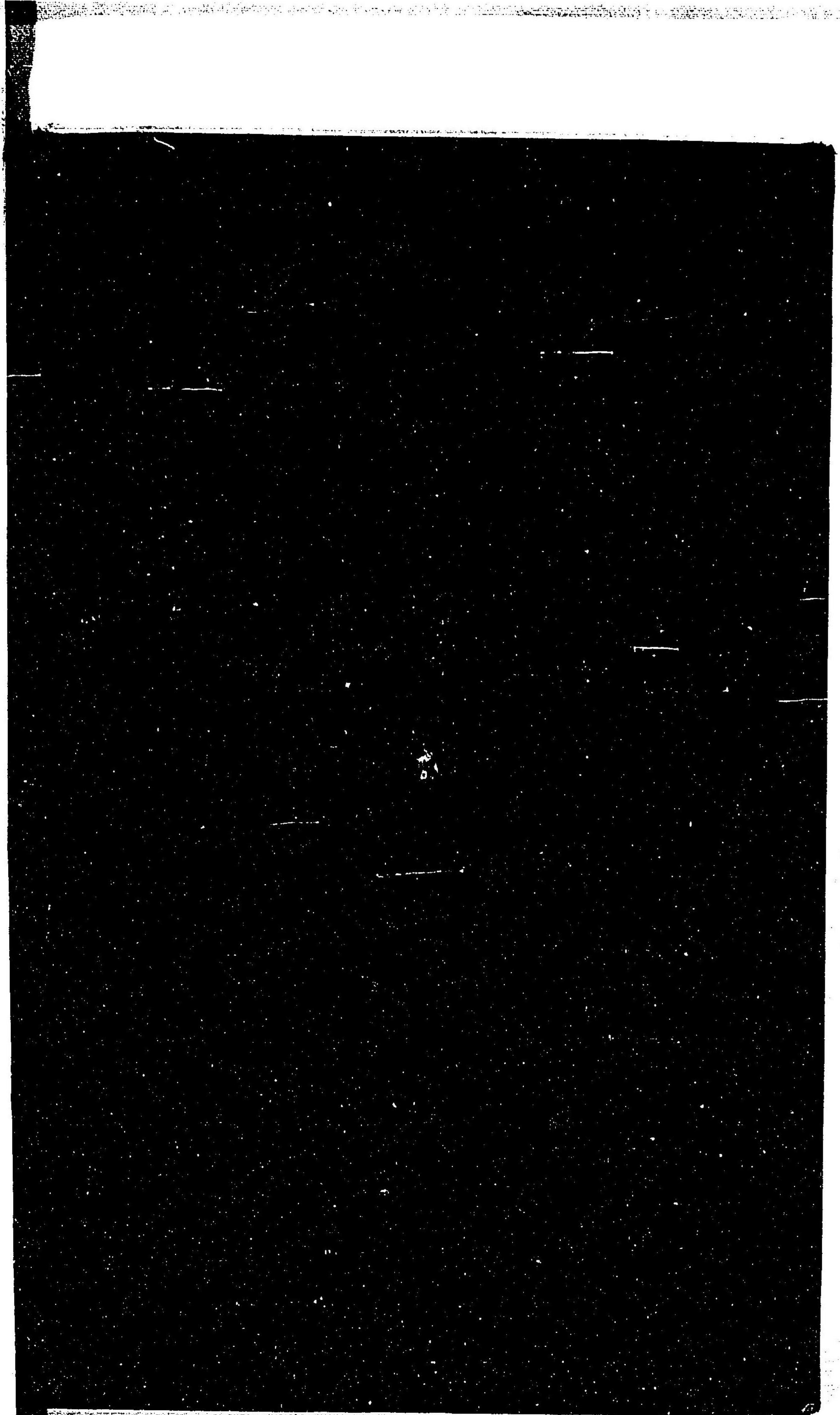
帝國印刷株式會社
東京市京橋區築地三丁目十五番地

賣捌所

各府縣特約販賣所

修正內國地誌
定價金八拾五錢

822
205



022725-000-8

84-205

内国地誌

新保 磐次/著

M33

ADB-0510



